

# みんなで聞こう、いっしょに話そう

～子育てをささえる地域<sup>づく</sup>創りのための  
ラウンド・ミーティング～



地域でまるごと子育て

「やあ！元気？って声かけてね」

「ちょっとつぶやきたいね」

# 当日はこんなプログラムでした…

## 港区地域こぞって子育て懇談会

高輪地区編1月13日(土)・芝地区編1月27日(土) 両日午後1時～3時30分

午後1時～1時30分

### 子どもたちと遊ぼうタイム～♪

参加者の皆さんと子どもたちと楽しむ時間を持ちました。  
「あとだしジャンケン」「隣人の証言」「甘い仲間たち」というゲームなどで、にぎやかにアイスブレイキング～

午後1時30分～2時

### 港区内子育てグループ の活動紹介

(紹介順)

みなと子育てネットWa.Wa.Wa

ポニーの会

おおきなき

おさんぼくらぶ

サコダ運動遊びくらぶ

高輪ハッピーママーズ

デイジーチェーン

La.La.La.

青山ライオンキッズクラブ

めいがかキッズ&ママ・パパ応援隊

みなそれぞれ子育てをとおしての地域  
創りをめざしています～

午後2時～3時30分

### 子育てをささえる地域創りの ためのラウンド・ミーティング

子育てまっ最中のパパ・ママ、地域の  
子育てに関心のある方、子育て支援に  
取り組む活動グループ、地域のさまざ  
まな活動者（町会、民生・児童委員、  
青少年委員、NPO等の皆さん）、商店会  
や企業の皆さん、学生やこれから子育  
てする方…さまざまな皆さんに呼びか  
け、高輪地区74名・芝地区80名が参  
加しました。

1月13日ファシリテーター森玲子

1月27日ファシリテーター加留部貴行

### ● 子育てをささえる地域創りのための「地訓」 ●

参加者の皆さんはグループに分かれ、グループの数だけ「地訓」をつくりました。  
昔はどの家にもあった「家訓」。ラウンド・ミーティングでは、「家訓」ではなく、地  
域の中で子どもたちを育てるために、親として大人として、こうあるべき&こうありた  
いね…という想いを「地訓」としてまとめてみようとしてディスカッションしました。

まとめた「地訓」が、明日また声をかけ合え、なじみになれる、そんな「地域まるごと  
子育て」ネットワークに役立ちますように。

# みんなが聞いて、いっしょに話そう

## 子育てをささえる地域創りのためのラウンド・ミーティング 開催までの軌跡



実行委員会

港区内の子育てグループメンバーに呼びかけ、実行委員会結成！  
10月20日より企画を開始、計10回の実行委員会を行いました。



### 子育て支援活動メンバーのための 活動スキルアップ講座

(48ページ以降に講座の内容を掲載しています)

実行委員会と並行して、懇談会の企画立案や運営のためのスキル、また日頃の子育てグループ活動にも役立つスキルを皆で学びました。



第1回「ITをつかって活動をPRしよう」  
\*実際に、ブログをつくりました。



第2回「参加者集めのためのチラシづくり」  
\*伝えるためのマインドを学びました。



第3回「活動紹介のためのプレゼンスキル」  
\*写真はプレゼンテーションの実習をしているところです。



第4回「報告書のまとめ方」  
\*いろいろな報告書を見比べてみました。



# みんなが聞く、いっしょに話そう

## ～子育てをささえる地域創りのためのラウ

### 子どもたちと遊ぼうタイム～♪

地域での子育てを話し合うためのラウンド・ミーティング…でも大人だけで話すのではなく、すこしの時間だけ子どもたちともふれあおう～と、会場いっぱいになって、たのしみました。



あとだしジャンケンしています。(高輪地区)



こちらもあとだしジャンケン中。(芝地区)



「甘い仲間たち」グループ分けは  
アメで行いました。(芝地区)



「隣人の証言」となりの人と自己  
紹介(高輪地区)



青山ライオンキッズクラブ



めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊



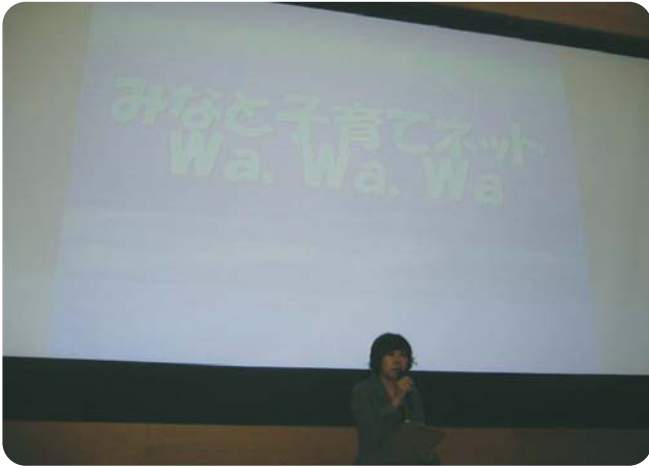
La.La.La.



# ンド・ミーティング～ 当日のドキュメント

## 港区内子育てグループの活動紹介

地域のさまざまな方へ向けて、子育てグループの活動を紹介しました。（講座の成果を生かして、2分間のプレゼンテーションを行いました。）



(高輪地区)

みなと子育てネットWa.Wa.Wa



(芝地区)



ポニーの会



おおきなき



おさんぽくらぶ



サコダ運動遊びくらぶ



高輪ハッピーマーズ



デイジーチェーン

# ～子育てをささえる地域創りのための ラウンド・ミーティング～高輪地区編

ファシリテーター森玲子さん



高輪地区のラウンド・ミーティングは  
10のグループで行いました。



各グループごとに地訓を発表しました。



地訓のアイデアを  
各自書いてから意見  
交換しました。



10カ条の地訓が出そろいました。



たが なわ ち く ち くん  
**高輪地区 地訓**

まずは一歩を  
 ふみだそう!!

地域子育て隊  
 シールの提案

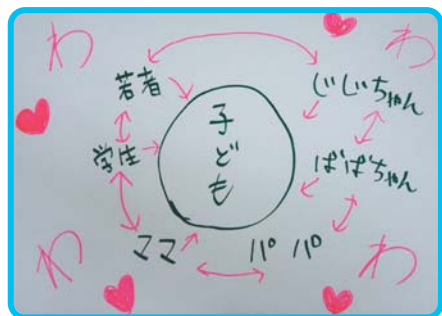
家族みんなで  
**イベントを!**  
 ~あわ玉チーム~

☆ 声かけでまわり友達を。  
 ☆ はじめの一歩。

「地域の行事」って  
 実は「コミュニケーション」  
 の場なんだよね~

自ら積極的に  
 関わりあっていこう!  
 大人から子どもにも。  
**子ども**から大人にも

・どの子も我が子。  
 と思って。(あいさつねろ)  
 ・どんどん出よう。



「おせっかいでも  
 いいから一声  
 かけよう。何度でも  
 (めげないぞ)」

チョコマシマロ  
 顔をあげて  
 笑顔であいさつ  
 ~チョコって外に出るみせんか?~  
 by Seika = 11月・秋 - たけし・みこ



# ～子育てをささえる地域創りのための ラウンド・ミーティング～芝地区編

ファシリテーター加留部貴行さん



芝地区のラウンド・ミーティングは  
11のグループで行いました。



各グループの地訓の「その心」を発表  
しました。



各グループの  
リーフレット  
をおいた資料  
コーナー



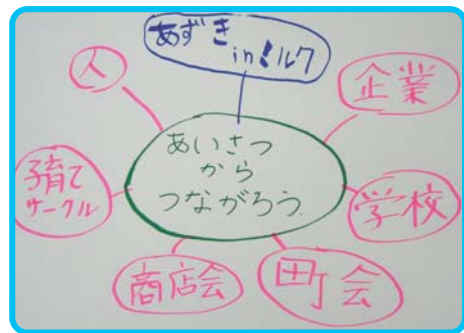
11か条の地訓が出そろいました。

しば ちく ちくちん  
芝地区 地訓

まずは あいさつ  
気楽に話そう。  
誰とでも。  
出来れば毎日20分。

バリアフリー  
街も心も  
フレンドリー

みんなで  
子育て  
身近な人がわりから  
はじめよう!



サラリーマンの街  
じゃない!!  
親子が楽しめる街に  
変えよう!  
近所で声かけ  
芝児童館に代わる施設を。

アイラブユー  
ごつながろう

笑顔 あいさつ  
つながる  
見守る 場 地録  
<マッシュルームグループ>

えかおてあいさつを交わそう!  
子どもをまん中に  
あつまるまちづくり  
(学校・公園・児童館 其他)  
(サテライトグループ) 様々なスペースをつかおう

あいさつ  
かっわき  
るもやあ  
くかかにお  
う

子育ては  
誰でもまきこみ  
迷惑かけちゃえ!!  
☆コーヒ-あめグループ☆

あいさつ  
1番のまち



# 実行委員会が作成したポスター・チラシ

イラスト: 柏木千里 (めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊メンバー・明治学院大学 社会福祉学科4年)

ポスター

港区地域こぞって子育て懇談会 高輪地区編・芝地区編

## みんなでおしゃべり、いっしょに話そう

手話通訳つき

～子育てをささえる地域創りのためのラウンド・ミーティング～

開催日時・場所 2つの地区で開催します。どちらかへの参加・両日参加いずれも歓迎です。

高輪地区編

2007年1月13日(土) 午後1時～3時30分  
明治学院大学 白金キャンパス アートホール  
(最寄り駅: 白金高輪、白金台、高輪台)

芝地区編

2007年1月27日(土) 午後1時～3時30分  
港区立子ども家庭支援センター 地域活動室  
みなとキッズサポートセンター (最寄り駅: 浜松町)

対象 地域の子育てに関心のある方、子育て中の方(高輪・芝地区以外の方も歓迎です)

参加費 無 料

保育あり 未就学児20人まで 申し込み多数の場合は、抽せん

保育申し込みめきり 高輪地区1月13日分: 12月26日(火) 芝地区1月27日分: 1月19日(金)

定員 各地区 60人

申し込み方法 申し込み先へTEL、FAX、Eメールでお申し込みください。

◆子どもたちと遊ぼうタイム～♪ 13:00～13:30

参加者と子どもたちと楽しむ時間を持ちます。♪ゲー～チョコキ～パー♪

◆港区内の子育てグループの活動紹介 13:30～14:00

みなと子育てネットWa.Wa.Wa 高輪ハッピーマーズ ポニーの会  
La.La.La. おさんぼくらぶ デイジーチェーン おおきなき  
青山ライオンキッズクラブ サコダ運動あそびくらぶ その他

◆参加者によるラウンド・ミーティング 14:00～15:30

子育てをささえる地域ビジョンを創ります



お問い合わせ・申し込み先 明治学院大学社会学部附属研究所 (港区白金台1-2-37)  
TEL03-5421-5204・5205 FAX03-5421-5205  
Eメール issw@soc.meijigakuin.ac.jp

主催: 港区立子ども家庭支援センター・明治学院大学社会学部附属研究所



港区地域こぞって子育て懇談会 高輪地区編・芝地区編

# みんなで聞こう、いっしょに話そう

～子育てをささえる地域創りのためのラウンド・ミーティング～



## 地域でまると子育て

「やあ！元気？って声かけてね」

「ちょっとつばやきたいね」

開催日時・場所 2つの地区で開催します。どちらかへの参加・両日参加いずれも歓迎です。

手話通訳つき

**高輪地区編**  
2007年1月13日(土) 午後1時～3時30分  
明治学院大学 白金キャンパス アートホール  
(最寄り駅：白金高輪、白金台、高輪台)

**芝地区編**  
2007年1月27日(土) 午後1時～3時30分  
港区立子ども家庭支援センター 地域活動室  
みなとキッズサポートセンター (最寄り駅：浜松町)

対象 地域の子育てに関心のある方、子育て中の方 (高輪・芝地区以外の方も歓迎です)

◆子どもたちと遊ぼうタイム～♪ 13:00～13:30

参加費 無 料

参加者と子どもたち楽しむ時間をもちます。♪グーチョキ～パー♪

保育あり 未就学児20人まで 申し込み多数の場合は、抽せん

◆港区内の子育てグループの活動紹介 13:30～14:00

保育申し込みめきり 高輪地区1月13日分：12月26日(火) 芝地区1月27日分：1月19日(金)

みなと子育てネットWa.Wa 高輪ハッピーマーズ ポニーの会  
La.La.La. おさんぼくらが デイジーチェーン おおきなき  
青山ライオンキッズクラブ サコダ運動あそびくらが その他

定員 各地区 60人

◆参加者によるラウンド・ミーティング 14:00～15:30

申し込み方法 下記申し込み先へTEL、FAX、Eメールでお申し込みください。

子育てをささえる地域ビジョンを創ります。

お問い合わせ・申し込み先 明治学院大学社会学部附属研究所 (港区白金台1-2-37)  
TEL03-5421-5204・5205 FAX03-5421-5205  
Eメール issw@soc.meijigakuin.ac.jp 会場の地図は裏面にあります。

主催：港区立子ども家庭支援センター・明治学院大学社会学部附属研究所

主催：港区立子ども家庭支援センター・明治学院大学社会学部附属研究所

# 港区地域こぞって子育て懇談会

～子育てをささえる地域創りとは～高輪地区編・芝地区編

## 子どもたちと遊ぼうタイム～♪

参加者の皆さんと子どもたち楽しむ時間をもちます。

(保育利用のお子さんも保育者と共に参加します)

♪グーチョキ～パー♪

## ◆港区内の子育てグループの活動紹介

港区内で活動中のグループメンバー自らが活動紹介します。活動者は子育て中の人たち中心。みなそれぞれに、子育てを通しての地域創りをめざしています。

(参加予定グループは表面の通り)

## みんなで聞こう・いっしょに話そう

～子育てをささえる地域創りのためのラウンド・ミーティングです～

子育て真っ最中のパパ・ママ、子どものことに関心のある皆さん、子育て支援に取り組む活動グループ、地域のさまざまな活動者(町会、民生、児童委員、青少年委員、NPO等の皆さん)、商店会や企業の皆さん、学生やこれから子育てする皆さん…  
みんなで聞こう～いっしょに話そう～参加をお待ちしています。

## 地域でまると子育て

## 子育てをささえる地域ビジョン

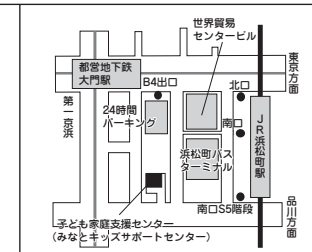
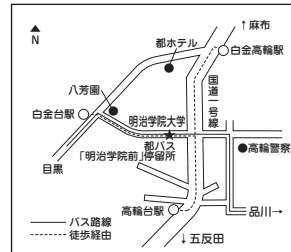
●・・・(参加者の皆さんと地域ビジョンを創ります)

(明治学院大学 白金キャンパスへの交通)

所在地 港区白金台1-2-37  
東武メトロ南北線・都営地下鉄三軒「白金台駅」(白金高輪駅、都営地下鉄浅草線「高輪台駅」より徒歩約7分)  
JR・京浜急行「品川駅」(高輪口)下車、都バス「品川駅」行で「明治学院前」下車  
JR・東武「目黒駅」(東口) (ロータリー側) 下車、都バス「大井町橋」行で「明治学院前」下車

(港区立子ども家庭支援センターへの交通)

所在地 港区浜松町2-3-20  
電話：03-3432-8341 (虐待相談専用ダイヤル：03-3432-8343)  
Fax：03-3432-8344  
最寄り駅 JR浜松町駅 南口 徒歩2分  
子ども家庭支援センター (みなとキッズサポートセンター)





## 港区地域こぞって子育て懇談会報告書 目次

|   |    |
|---|----|
| 港区立子ども家庭支援センター&明治学院大学社会学部附属研究所所長よりごあいさつ | 1  |
| 2006年度「港区地域こぞって子育て懇談会」企画ができるまで          | 2  |
| 子育てをささえる地域創りのためのラウンド・ミーティングの報告          | 8  |
| ラウンド・ミーティングのすすめかた                       | 9  |
| 高輪地区編 地訓                                | 10 |
| ファシリテーターより                              | 11 |
| 高輪地区グループディスカッション実行委員レポート                | 12 |
| 芝地区編 地訓                                 | 14 |
| ファシリテーターより                              | 15 |
| 芝地区グループディスカッション実行委員レポート                 | 16 |
| どんな人たちが参加してくれたのかしら？                     | 18 |
| 参加者の声                                   | 19 |
| 実行委員感想集「港区地域こぞって子育て懇談会に参加して」            | 20 |
| めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊（学生ボランティア）感想集「応援隊のはなし」  | 24 |
| 港区地域こぞって子育て懇談会2007年度へ向けて                | 26 |
| 港区内子育てグループの活動紹介（当日配布した各グループの資料集）        | 27 |
| みなと子育てネットWa. Wa. Wa                     | 29 |
| ポニーの会                                   | 30 |
| おおきなき                                   | 32 |
| おさんぼくらぶ                                 | 34 |
| サコダ運動遊びくらぶ                              | 36 |
| 高輪ハッピーママーズ                              | 38 |
| デージーチェーン                                | 40 |
| L a. L a. L a.                          | 42 |
| 青山ライオンキッズクラブ                            | 44 |
| めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊                        | 46 |
| 『子育て支援活動メンバーのための活動スキルアップ講座』の内容          | 48 |
| 2006年度港区地域こぞって子育て懇談会開催時点の“目で見えるデータ”     | 62 |
| 編集後記                                    | 63 |



### ●港区立子ども家庭支援センター所長 川上真二●

「港区地域こぞって子育て懇談会」に多数の皆さんにご参加いただき、本当にありがとうございます。この「港区地域こぞって子育て懇談会」は、港区で子育てをするのはどうなのだろうか、子育てを地域でしやすくするにはどうしたらいいのか、そんなことを子育て中の皆さん、地域の皆さんといっしょに考えたり、それを実践するためにはどうしたらいいのか、ということ、みんなで話し合えようという機会です。

今回は、地域福祉を実践・研究している明治学院大学社会学部附属研究所と連携し、それにより、区内の子育てグループの方はもちろんですが、学生ボランティアの皆さん、保育を担当してくれた子育て・家族支援者の皆さん、地域の皆さん、民生・児童委員さんをはじめ地域でさまざまな役割をもった皆さんにも協力していただきました。本当に感謝しています。また、この懇談会を開催するまでに、子育てグループの方々には実行委員になっていただき、懇談会企画を進めるための事前学習会（活動スキルアップ講座）への参加や、懇談会の打ち合わせを重ねていただきました。今日の「地域こぞって子育て懇談会」本番では、その成果をいかに発揮してもらいたいと思います。

この懇談会が、子育て中の皆さんと地域の皆さんが知り合いになるきっかけとなり、今後も地域で子どもを見かけたときに声をかけたり、子育てしている皆さんに対する暖かいまなざしが、港区の中にあふれていくようになってほしいと思います。

(2007年1月13日高輪地区編開会あいさつより)

港区立子ども家庭支援センター・明治学院大学社会学部附属研究所

## 所長よりごあいさつ

### ●明治学院大学社会学部附属研究所所長 遠藤興一●

私の世代ですと、子どもが生まれるという、その最初に得るイメージは、ディズニーのダンボというメディアです。コウノトリがきて、サーカスにいるお母さん象のところに子どもを連れてやって来るのです。ヨーロッパでは、子どもたちは、神さまから託されて預かり、子どもを育てるという考え方なのです。しかし、われわれは違うのです。子どもを授かってしまう。授かるというのは、極端なことをいうと、所有物で、「おれは、もらっちゃった。自分は何をしてもいいのだ」というところまでいく考え方です。実は、子育てというのは、「預かりもの」と「授かりもの」の両方の役割をもって一生懸命育てることです。ところが、「授かる」という考えには、「預かっているのだ、預かっているということは、いずれ神さまのところにお返しするのだ、それまで託されている責任があるのだ」という考え方があまりないのです。ということは、人格とか、小さい子どもでも、ひとりひとりに対するものがあるのだ、ということ。育てるということから、「もらいました、おれのものなのだ」という考えは出てこない。所有一辺倒という考え方になってはいけません。私はやはり、「預かりもの」であり「授かりもの」である子どもを、どう育てるかについて、「地域こぞって子育て懇談会」でのさまざまな話し合いが、役立つといいな、参考になればと思っています。

(2007年1月27日芝地区編閉会あいさつより)

# 2006年度 「港区地域こそって子育て懇談会」 企画ができるまで

・・・明治学院大学社会学部附属研究所が「港区地域こそって子育て懇談会」にかかわる経緯・・・

●明治学院大学社会学部附属研究所は、本学社会学部の研究の砦であると同時に、地域に開かれた相談機関としての機能を持ち、福祉相談活動（個人やセルフヘルプグループ、施設・NPO）や講座・研修活動（市民や社会福祉実践家向け）に取り組む研究所です。

●2000年度より地域の福祉課題解決のための土壌づくりをめざし、またボランタリーな活動を推進する目的で、市民講座を開催しています。

3ページ以降に掲載したとおり、これまでにいくつかの市民講座を企画しながら、港区には、いったいどんなボランタリーな活動があるのか、どんな魅力的な活動があるのかを手探りで探し、さまざまな活動をしている方々と出会ってきました。

●この3年は、港区内の子育て・子育て環境がもっとよくなるよう取り組みたいという活動者との出会いもあり、子育て相互支援活動に着目して、特に子育て中の当事者による活動グループの方たちとつながりをもとうと努力しました。2005年度、それまでに出会えた皆さんと「都心で子育てまっ最中！ママ・パパからの発信～子育てをささえる地域創りとは～」という市民講座をいっしょに企画しました(2006年3月)。

●上記講座をとおして、子育てをささえる地域創りを模索する上での課題がみえてきました。さまざまな子育てグループとの出会いから、子育て相互支援活動グループの課題や要望も伝わってきました。

●そんな折、港区立子ども家庭支援センターより、「港区地域こそって子育て懇談会」企画協働という提案が舞い込みました。子育てグループネットワークの活動者たちと共に取り組めるならば、子育て当事者ならではの想いやニーズを盛りこんだ企画を立てられるかもしれない。そんなもくろみを持ちました。今回は限られた時間でしたが、元気に手を挙げてくれた活動者たちと、互いに学びあいの場をもちながら、企画に臨みました。

●子育てをささえる地域創り・・・さまざまな社会状況の中たやすすくないことがたくさんあります。でも、未来の「市民」を育てるしごと、その環境を創造するしごとに、微力ながら私たちもひきつづき携わっていきたいと考えます。

# 明治学院大学社会学部附属研究所これまでの地域・コミュニティ創り活動

## ◆2002年度 「都市型ボランティア活動とは?～企業の社会貢献と市民参加～」開催

(基調講演とパネルディスカッション)

都市ならではの課題：単身世帯の増加、高齢化そして孤立化…。それに対し、地縁・血縁型の長期定住者、新たな出会いのなかで活動する住民、昼間の人口割合が高いという特徴ならではの在勤・在学者の存在、NPO型活動の占める割合の高さ、コミュニティビジネスの参加など、多様な人々の取り組みが展開され、その多様さこそ都市におけるボランティア活動の特徴である。課題として、ネットワークを創ること、顔の見える関係を創ることが重要。そのための中間支援組織の役割はどうあったらよいか?との課題も示された。そして、NPOと企業・行政との協働はどうしたらよいか、そもそもボランティア活動の本質とは何か?との論点も出た。

### ○基調講演「都市型ボランティア活動とは?～企業の社会貢献と市民参加～」

講 師：山崎 美貴子 (明治学院大学教授/  
東京ボランティア・市民活動センター所長)

### ○パネルディスカッション

パネリスト：日 塔 憲 夫 (松下電器産業株式会社コーポレートコミュニケーション本部社会文化グループ)  
林 川 玲 子 (ビバ日本語教室)  
柳 川 素美代 (特定非営利活動法人生活福祉ネットワーク)

コーディネーター：山崎 美貴子

## ◆2003年度 都市型ボランティア活動に関する研究会・研究会企画による「都市型ボランティア活動フォーラム～実践報告と今後のゆくえ～」開催

### ○プレゼンテーション

特定非営利活動法人アンテナフランス

中津川 昌弘

特定非営利活動法人生活福祉ネットワーク

柳 川 素美代

ビバ日本語教室

林 川 玲 子

NPO/NGO環境団体エコスクラブ

山 村 徳 護

港区民生・児童委員協議会三田地区会長

古 橋 義 弘

港区赤十字奉仕団

岩 間 貞 子

### ○フォーラムのまとめ

講 師：山崎 美貴子

(明治学院大学名誉教授/神奈川県立保健福祉大学教授/東京ボランティア・市民活動センター所長)

2002年度の参加者から希望が寄せられ、都市ならではのボランティア活動について討議しようという研究会をもった。研究会では、都市に暮らす生活者たちの諸課題解決に取り組む活動者メンバーの実践を振り返りながら、実践の中から都市型ボランティア活動の本質に迫ろうとした。そこでは、都市における数々のコミュニティの課題が語られた。ボランティア活動は都市におけるコミュニティ復活の手段では?という意見もあった。これらの討議のまとめで、公開型フォーラムを行い、討議で出された以下の活動上の課題について、グループディスカッションを行った。<以下、テーマ>

- 1 自律した活動者となるために、活動の育ちを応援する基盤や仕組みづくり
- 2 行政・企業・NPO・ボランティアなどのネットワークをどう発展させるか?
- 3 地域住民のネットワークをどう創るか? ボランティア活動へどう巻き込むか?





## ◆2004年度「都市型ボランティア活動大特集!～リンクしよう!明学&港区のNPO～」開催

(ミニ講義とリレーNPO活動紹介)

2003年度研究会のNPOメンバーから「ボランティアをもっと募集したい、地域の人をもっと巻き込みたい」との声が多数あった。そこで、地域の皆さんと本学学生を対象に、港区内のNPOの『ボランティア活動プログラム』を紹介しよう～という企画を開催した。多様な10のNPOが参加した。

### ○NPOとの準備講座

「効果的なボランティア募集とは?～ボランティアマネジメント入門～」

講師：妻鹿 ふみ子

(吉備国際大学助教授)

### ○ミニ講義

「NPOでボランティア活動をするということ」

講師：小原 宗一

(日本ボランティアコーディネーター協会運営委員長/  
本学卒業生)

### ○リレー活動紹介 参加NPO

人工呼吸器をつけた子の親の会東京支部 みなと工房 特定非営利活動法人エコスクラブ

NPO視覚障害者支援ネットワーク StrawberryField<sup>ストロベリーフィールド</sup> 連合東京ボランティアサポートチーム

特定非営利活動法人生活福祉ネットワーク 特定非営利活動法人日本アロマテラピー活動サポートセンター

クリエイティブ・アート実行委員会 認定特定非営利活動法人JHP・学校をつくる会 特定非営利活動法人日本ゆび編み協会

## ◆2004年度 クリエイティブ・アート実行委員会 (港区南青山) 共催

「新しい出会いがコミュニティを創る」開催

(基調講演とパネルディスカッション)

### ○基調講演

「都市コミュニティの魅力とネットワークの力

～新しい文化はどこで生まれるのか～」

講師：野沢 慎司

(本学社会学部教授)

### ○パネルディスカッション

「港区の今、そしてこれから… 都市コミュニティの魅力と課題」

パネリスト：伊地知 裕子

(クリエイティブ・アート実行委員会)

山田智之

(浄土宗魚藍寺住職)

渋谷 典昭

(みなとNPOネットワーク)

伊佐見 節子

(絵本の読み聞かせ「きしゃポッポ」)

NPO紹介企画で出会ったクリエイティブ・アート実行委員会は、都市型ボランティア活動に関わる研究会でくりかえし討議された、「人々のつながりやコミュニティ」とアートをテーマにしている。港区という町の歴史を大事にしなが、新しいつながり創りをするNPOとの出会いから、都市に暮らす私たちは、人々のつながりやコミュニティをどう捉え、何を求めるのかを投げかけられ、協働による発信を実現した。

2002-2004年度の間模索しながら活動してきました。2005年度以降のミッションとして、「都市型ボランティア活動」とは、都市におけるさまざまなボランティア活動（個人や任意のグループによるボランティア活動も、NPOによる市民主体の諸事業も）と捉え、それらがより活発になるよう、活動者と連携・協働し、共に発信し、ネットワークを創っていきたくと考えました。そのネットワークのもと、出会いや学びの場創りに取り組み、私たちもまた、地域の一資源としてコミュニティ創り・地域創りに参画したいと考えます。

## ◆2005年度 「コミュニティ創りを担うNPO

～地域に暮らすさまざまな人々とNPOとの出会いをめざして～」開催

(ミニ講演とリレーNPO活動紹介)

### ○NPOとの準備講座

「NPOを知らない層へ向けたプレゼンテーション」

講師：青木 将幸

(青木将幸ファシリテーター事務所代表)

### ○ミニ講演

「地域住民とNPOが創る新しいコミュニティ

～町会・PTA・民生委員の活動経験より～」

講師：古橋 義弘

(港区民生・児童委員協議会三田地区会長)

### ○リレー活動紹介 参加NPO

特定非営利活動法人テクノシップ みなと21：女の議会 特定非営利活動法人日本アロマテラピー活動サポートセンター  
クリエイティブ・アート実行委員会 認定特定非営利活動法人JHP・学校をつくる会 特定非営利活動法人日本ケナフ開発機構  
特定非営利活動法人生活福祉ネットワーク 特定非営利活動法人日本ガーディアン・エンジェルズ

2004年度のNPO紹介企画の参加NPOより、「大学・NPO・地域」を結ぶ本企画を継続して行ってほしいという要望をもらった。それならば、新しい出会いを求めてコミュニティ創りに取り組む、取り組もうとしているNPOに、地域の皆さんや学生たちにRPしてもらおうと集まってもらった。参加NPOから、地元で活躍する方のお話を聞きたいという要望が寄せられ、町会・民生委員を担う方にNPOへの期待をお話いただいた。

## ◆2005年度 「都心で子育てまっ最中！ママ・パパからの発信

～子育てをささえる地域創りとは～」開催

(ラウンドミーティング)

当所とすでにつながりのあったママたちと、「子育て当事者の立場から地域に向かって発信しよう！」という講座の主旨や方向性を打ち出した。地域の他のグループともつながりたい、との想いが共通していることもわかり、講座をきっかけに子育て中の人たちが取り組むグループとの出会いを求めた。

○港区内の子育てグループ活動紹介 (9グループが参加)

○近隣品川の子育て相互支援活動に学ぶため、「ふれあいの家-おばちゃんち」の幾島事務局長による活動紹介

○都心での子育てを取り巻く現状やニーズを当事者の声として発信

\*本企画は、学生ボランティア「めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊」も、子育てグループと交流しながら運営を支えた。

本講座は、都心の中での孤立しない子育て、それをささえる地域創りについて、当事者も支援者も地域の人々も一緒に考える、その第一歩の発信でした。講座を機に子育てグループのネットワークも築かれました。でも、講座には、パパをはじめ男性の参加が少なく、地域社会全体で子育てについて考えることのむずかしさ、課題も感じさせられました。

子育て相互支援活動の担い手たちは、グループ同士のつながりをもちはじめ、情報を共有し、交流も…そして、  
**港区地域こぞって子育て懇談会企画の担い手へ**

## 地域こぞって子育て懇談会実行委員会

これまでに会った、子育て相互支援活動グループに、本懇談会をいっしょに創ろう～と呼びかけ、実行委員会をつくりました。活動者たちが本企画をとおしてパワーアップできるよう、企画作りや日々の活動に役立つ学習会（活動スキルアップ講座）を行いながら、企画を進めました。

実行委員会を立ちあげ  
ました!START!

### 第1回 10月20日

企画の趣旨や目的を確認しました。

### 活動スキルアップ講座 (10月20日開催)

第1回ITをつかって活動をPRしよう

講師：川森茂樹氏・山田祐介氏  
(NTTデータ技術開発本部  
システム科学研究所)

多くの人にお金をかけずに活動を知らせる手段としてIT活用を学び、講座当日実際にブログを作りました。地域こぞって子育て懇談会をたくさんの人たちに知らせたい～、日頃の子育てグループ情報を必要な親子に届けたい～、いっしょに活動する仲間を集めたい～! 何をとっても情報発信はキーポイントです。情報発信してほしい情報も集めたい～

### 第2回 11月10日

どんな地域こぞって子育て懇談会にしたいかな～?  
それぞれの想いをすりあわせました。

### <実行委員メンバー>

伊佐見節子 (高輪ハッピーマーズ)  
志牟田美佐子 影田智子 (ポニーの会)  
大西麻子 伊藤静華 (青山ライオンキッズクラブ)  
金地ひかる 中鉢康子 宇山真紀子 (La.La.La.)  
廣田千秋 (おおきなき)  
石橋千恵子 (おさんぼくらぶ)  
北川あす香 (デ이지ーチェーン)  
裕田栄 (サコダ運動あそびくらぶ)  
めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊  
森玲子 平野幸子 (社会学部付属研究所)

### 活動スキルアップ講座 (11月24日開催)

第2回参加者集めのためのチラシづくり

講師：吉田理映子氏  
(市民活動情報センターハンズオン!埼玉)

必要な人にちゃんと情報を届けるためのチラシづくりについて、そのマインドを学びました。

「伝えることのできる幸せを思っていたい」との講師のメッセージ、響きました。私たち市民のナマのキモチの言葉を大切にすることも学びました。

### 第3回 11月24日

懇談会をPRするためのコピーを考えました。

「みんなで聞こう・いっしょに話そう」という呼びかけ言葉にしよう!と、皆で決めました (講座の成果です)。



## 第4回 12月1日

懇談会の内容をつめました。  
どんなことをこの懇談会で話  
したいか?白熱の議論となり  
ました。

## 第5回 12月8日

活動紹介順や当日配付資料を  
どうするかなどをつめました。

## 活動スキルアップ講座 (12月1日開催)

第3回活動紹介のためのプレゼンスキル  
講師：青木将幸氏  
(青木将幸ファシリテーター事務所)

地域の方に活動を知ってもらうには人前での  
紹介が必要。プレゼンテーションスキルを学  
びました。  
2分間のプレゼンテーションの実習をしなが  
ら学びました。地域こぞって子育て懇談会当  
日の活動紹介も2分間。  
講義と実習の成果がばっちり発揮されました!

## 第6回 1月10日

当日の運営方法をつめました。  
(その1)

## 第7回 1月12日

当日の運営方法をつめました。  
(その2)

1月13日高輪地区編  
地域こぞって子育て懇談会開催

## 第8回 1月19日

高輪地区編のグループディス  
カッションの報告と芝地区編  
へ向けての確認をしました。

1月27日芝地区編  
地域こぞって子育て懇談会開催

## 活動スキルアップ講座 (2月23日開催)

第4回報告書のまとめ方

講師：後藤麻理子氏  
(日本ボランティアコーディネーター協会)

どんな報告書をつくったら見てもらえるかし  
ら?活動実績のまとめとしての報告書制作に  
ついて学びました。成果を地域創りに役立て  
たいです。

## 第9回 2月16日

芝地区編のグループディスカッ  
ションの報告をしました。

## 第10回 2月23日

報告書の制作について検討し、  
全体の総括も行いました。

# 子育てをささえる 地域創りのための ラウンド・ミーティングの報告

みんなで聞こう・いっしょに話そう



## <実行委員会で話し合われた、地域こそって子育て懇談会への願いや想い>

- 今の子育て、子育てをしている想いを知ってほしい。
- 子育て当事者として「助けてコール」もしたいけど、私たちにできることも地域の皆さんに伝えたい。
- 地域の皆さんと声をかけ合え、なじみになることをめざしたい。
- いろいろな人がいることを知ることができる地域での関わりを、子どもと共にもちたい。
- 地域こそって子育て懇談会では、双方向で想いを語り、わかち合いたい。
- 地域こそって子育て懇談会は、「地域でまるごと子育て」の土壌づくりになることを願っている。
- 地域こそって子育て懇談会の出会いをとおして、「地域でまるごと子育て」ネットワークを広げたい。

# ラウンドミーティングのすすめかた

## 【3つのルール】

- ・ どんどん話をしましょう
- ・ 他の人の話も聴きましょう
- ・ アメをなめながら気楽にお話しましょう

## 1. グループをつくる

- ①箱の中から好きなアメを1つ選ぶ
- ②同じアメを選んだ人同士、椅子を寄せ合ってグループをつくる

## 2. 自己紹介

- ①名前、②子どもの頃に親や大人に言われて印象に残っていること（我が家のしつけ、大事にしていることなど）を紹介しあう

## 3. 地訓をつくる ～みんなで聞こう、いっしょに話そう～

- ①「子育てをささえる地域創り」の実現に向けて、大切にしたいこと、めざしたいこと、必要と思うことなどを大いに話し合う
- ②グループの全員が話して、聴いて、グループでひとつの「地訓」（地域の家訓）をつくる

## 4. 発表

- ①グループごと「地訓」を、画用紙にまとめる(色や絵も工夫!)
- ②グループの「地訓」を全体に向けて発表する

港区地域こぞって子育て「地訓」  
高輪地区 10か条完成!  
芝地区 11か条完成!



たかなわ ちく ちくん  
**高輪地区 地訓**

※「地訓」…地域の"家訓"(代々信条として伝えること)

## 【10か条】

- まずは **一歩** をふみだそう!!
- 声かけでまわりに友達を。はじめの **一歩**
- 顔をあげて笑顔であいさつ  
～チョコっと外に出てみませんか?～
- おせっかいでもいいから一声かけよう、何度でも (めげないで)
- どの子も"我が子"と思って(あいさつ、叱る)。  
どんどん出よう。
- 子どもを中心に…若者・ママ・じじちゃん・学生・パパ・ばばちゃん…  
♥「わ・わ・わ・わ」♥
- 自ら積極的に関わりあっていこう!  
大人から子どもにも、子どもから大人にも♪
- 家族みんなで **イベント** を!
- 「地域の行事」って実は  
…コミュニケーションの場なんだよね～
- 「我が家は地域子育て隊」シールを提案!

ファシリテーター [高輪地区]

森 玲子氏 (明治学院大学社会学部附属研究所 ソーシャルワーカー)

静岡市生まれ。

明治学院大学社会学部を卒業後、同大学院在学中に(財)児童育成協会こどもの城に勤務。子育てグループの活性化とネットワーク化を目指した、全国サークルネット支援事業に携わる。

地域活動の支援に関心を持ち、2004年度より、明治学院大学社会学部附属研究所にてソーシャルワーカーとして勤務。

現在、東京都社会福祉協議会にて社会福祉従事者の研修の企画・運営を担当する専門員を兼務。

「肩の荷をちょこっと置ける空間づくり」の夢に向かってお茶の店に勤務した経験あり。

この懇談会は、みなと子育てネットWa.Wa.Waを中心にした実行委員会と、子育てグループ活動の積み重ねが原動力となって実現しました。猛烈にエネルギーな当日を過ごせたのも、子育て真っ最中メンバーの企画だからこそ、と思います。

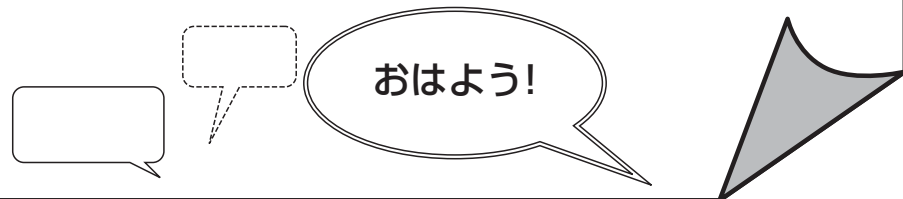
そしてなにより、地域のみなさまの関心の高さに嬉しいやらびっくりやら!でした。「いろんな方に来てもらいたい」と、想いを込めて企画しましたが、当日、本当にたくさんの方にお越しいただきました。ママ・パパはもちろん、子育てひと段落の方、学生、子どもたち、これからママ・パパになるかも～の方、企業の方……、みんな同じように目をキラキラさせて熱く濃～く語り合う姿に、「地域"こぞって"」の始まりだなあ～と、実感しました。

全21か条の「地訓」にはたくさんの願いが込められています。全ての地訓が出揃ったとき、やさしさと暖かさに満ちた街の風景が思い浮かんで、感動★でした。多くの地訓に共通していた「あいさつ」「声掛け」「コミュニケーション」…。それは、人の気配を感じながら暮らしていくことの大切さを伝えるメッセージです。

また、地訓からは、一人ひとりの「はじめの一步を自分から!」という決意(?)がにじみでていました。その決意こそが、「地域"こぞって"子育て」の第一歩なのだと思います。

道ですれ違う知らない人に自分から声を掛けるなんて、とても勇気のいることだと思います。それでも、あいさつをして顔なじみになれば、自然と笑顔が交わされる日がくるでしょう。人びとの笑顔がいきいきと輝く街、それは子ども・子育て家庭だけでなく、誰にとっても暮らしやすい街なのだと思います。その実現は、私たち一人ひとりのちょっとした勇気と「おはよう!」のひと言から始まるのかもしれない。

高輪に住んで3ヶ月あまり…。ぼっ～と歩いていた朝の通勤路、今は勇気と決意を胸に、ドキドキしながら歩いています。



# ●●● 高輪地区グループディスカッション ●●●

## 実行委員レポート

グループの人数が6人だったので「もう少し近づきましょう。」と小さな輪にしたら、誰ひとりとして話さない人はいなかった。しっかり話を聞いてもらうこともできたのですごくよかった。それぞれの人の考えていることがよくわかった。3つのルールをきちんと皆守っていた。挨拶が大事だという話が出て、コミュニケーションの第一歩は挨拶だけど、なかなか挨拶してもかえってこない。でもそれは、続けないとだめですよ～ということから始まって、お互いどう思っているかを話せたのがよかった。中にこもってしまうと、なかなかコミュニケーションできないけど、勇気を出して、ちょっと外に出ると広がりますよ～というような話をした。

(実行委員：伊佐見節子)

年配の男性と女性、高校生・大学生のお子さんが出て、小学校や中学校の指導員をしてのような関わりの方のいる方が同じグループだった。幼児の子どもをもつのは自分だけだった。年配の男性の方が「福祉会館やお祭りなどで子ども達と接する機会もあるが、今の大人は、子ども達が危ないことをしていても注意をしない。危ない時はどの子も自分の子と思って注意したり叱ったり、昔はそうだった」という話があった。でも今は、全く顔も名前も知らない人に怒られても、子どもがなかなか受け入れられない。小学校高学年以上の年の子どもには、逆ギレされて暴力を受けたらという、怖さもあって、注意しづらいという情けない現状もある。まずは挨拶を交わし、どこに住んでいる人なのか、顔見知りくらいまでになれば、そんな不安もない。まずは挨拶をして、会話のできる関係を作ることが大事という話にまとまった。

グループには、子ども家庭支援センターの職員や学生もいて幅広かった。「子育て中の方どうですか?」と聞かれることが多かったので、子育ての現状を皆知りたいんだな～と思った。全員というわけではなかったが、参加者の何人かとおふれあうことができて、私たちのねらい通りだと思った。最初のアイスブレイクが場の雰囲気や和やかにしてよかったからなのかなと思った。

(実行委員：志牟田美佐子)

グループではまず、「おさんぼくらぶ」を始めた経緯を話した。ママがベビーカーで外へ出たら、サラリーマンが多く、なんでここを歩いているの?みたいな視線が痛くて外に出られない。だから、家にこもりがちになると聞き、お散歩中心にしようと思ったという話をしたら、びっくりしたようだった。他のお母さんも、皆そういう思いをしたことがあるという。子どもが障害を持っているという女性が、車椅子で街に最初に出た時は、皆、何でこんなところを車椅子で?という目で見られ辛かったが、2回目3回目になったら声をかけてくれる人もいた。なので、こもらず家から出て、ベビーカーも車椅子の人も、皆いろいろな人がいることを、みんなの目に触れさせないといけないね、という話で盛り上がった。

幼稚園の迎えをしている人も、朝同じ時間に会う人と話することもなかったが、ある時休みのあと幼稚園に行った時元気でしたかと話しかけられた。外に出て歩くことは大切なこと、そこからつき合いが生まれてくるといいね、児童館もいいが、昔のように商店街の人と顔見知りになり、子どもをみてもらっている間に買い物をしたり、そんな関係ができるといいねと話した。現在学童の見守り活動をしている年配の男性が(子どもの状況を知るため町会長さんに誘われて参加)、はじめは子どもからそ爺などと言われたが、1年続けると、冬休み前には「おじちゃんよいお年を」と言ってくれ、とても嬉しかったと、自分はよその子も可愛く見えるし、皆に注意をすると話していた。

地域の子どもを皆で叱った方がいいが、いきなり怒るといろいろと言われるので人間関係を作りたい。港区は、集まって何かをするより、外に出て普段の地域の人と顔見知りになることが必要だねという話で終わった。

(実行委員：石橋千恵子)



私のグループも一歩外に出ようよという話が皆から出た。1歳児の小さい子どもを持つお母さんが2人いて、最初は外に出られなくて辛かった、子どもに当たるわけではないけど、うまくいかなかったりしていた。でも、児童館に行くことで友だちができ、一緒に何かをするようになった。こもらないで外に出たほうがいいことがわかったというお母さんの意見があった。年配の女性が、孫はいないが近くの学校の通学時間に外に出て、子ども達に声をかけるようにしている。最初はなんだこのお婆さんと思われたが、だんだん声をかけていくうちに、子どもの方から声をかけてくれるようになった。こっちもあの子だというように関わり合いができるようになった。声をかけられると嬉しいし、多少見守りの目になるだろうし、交流を作っていきたいと話していた。知らない人に、おはようと言うことは勇気があるが、言ってみると次から慣れる。一歩外に出てみることを頑張ってみようという話でまとまった。

(実行委員：宇山真紀子)

私たちのグループも挨拶が大切という話がでた。民生委員の方が、子どもに注意したり声をかけることが怖いけど、どうしたらいいかという話になった。地域のイベントや集まりを交流の場にしたらいいという話になった。私たち子育て中の者や引っ越してきたばかりの方から、地域のイベントに参加しづらいと話した。しかし、実は地域の方たちは、どんどん来て欲しいと思っているという話で、「なんだそうだったんだ、何をどうしたらいいのだろう」と話し合った。硬い事務的なお知らせだけではなく、ポスターやチラシを活用し、「来てね」と書いてくれたらいいのではないか。私たちが、生まれたばかりの赤ちゃんを抱えて買い物に出たとき、レジの方と少し話ができるだけでも涙が出るほど嬉しいという話をしたら、「そうなんだ」とびっくりされた。それでは、声をかけることをやってみようかという話になった。

(実行委員：金地ひかる)

私のグループは、子ども家庭支援センターの所長、2児の母が私を含め3人、少し年配の女性、応援隊の学生。地訓は、「自ら積極的に関わっていこう」に決まりました。昔は近所付き合いも多かったから、地域で子育てもしやすかった。今は、なかなかできないので自ら関わって、自分から挨拶すると相手も変わるかもしれない。子育て中、駅の階段でのベビーカー運びなど、街で困ったら、我慢してひとりでやらないで声かけて手伝ってもらおう、そういうことが当たり前になる社会、自ら声をかけて動いてみるのも大事ではないか。マナーなど、大人がいい見本を示さないと、子どもは素直に育たない。大人から子どもへ、子どもから大人へ通じて、子どもが小さいと声をかけやすいし、声をかけられやすいのを利用して、大人同士のコミュニケーションを地域で取れるのはいいーなどの話が出ました。

(実行委員：裕田 栄)

私たちのグループには、看護師さんや中学校の先生がいた。小さな子どもを育てて、保育園に預けられない時誰に頼んでいいの？という話が出た。子ども110番ではなく、気軽に駆け込めるおうちをシールで示している他地区の話が紹介され、わかりやすくてよい！と盛り上がり、それを発表した。

(実行委員：廣田千秋)

しば ち く      ち くん  
**芝地区 地訓**

※「地訓」…地域の"家訓"(代々信条として伝えること)

## 【11か条】

- あいさつ 一番のまちっ
- 「あ」(あかるく) 「い」(いつも) 「さ」(さわやかに) 「つ」(つきあおう)
- **まずはあいさつ** 気楽に話そう、誰とでも。…できれば毎日20分
- えがおであいさつを交わそう!  
子どもをまん中にあつまるまちづくり  
(学校・公園・児童館・その他、様々なスペースをつかって)
- あいさつからつながろう (ひと・子育てサークル・企業・商店会・町会・学校)
- 笑顔・あいさつ・見守る・地縁 つながる場
- ♥みんなで子育て 身近なかかわりからはじめよう♥
- サラリーマンの街じゃない! 親子が楽しめる街に変えよう!  
…近所で声かけ。芝児童館に代わる施設を。
- 子育ては誰でもまきこみ迷惑かけちゃえっ!!
- バリアフリー 街も心もフレンドリー
- 「アイラブユー ♥」でつながろう

ファシリテーター【芝地区】

**加留部 貴行氏**（特定非営利活動法人 日本ファシリテーション協会理事・九州支部長）

福岡県出身。

1990年、西部ガス（株）入社。

人事部などに勤務後、2001年10月に福岡市市民局へNPO・ボランティア支援推進専門員として2年半派遣され、2004年4月に西部ガスに復帰。

2007年1月には九州大学へ出向し、現在、大学評価情報室特任助教授。

学生時代からムラおこし・まちづくり活動に携わり、入社後も活動を継続。市民公益活動全般や企業の社会貢献活動、行政の支援施策や市民との共働施策などへ、「産・官・学・民」の現場経験からアドバイスしている。

（特活）日本ボランティアコーディネーター協会副代表理事・運営委員

（特活）日本ファシリテーション協会理事・九州支部長

福岡ソフトバンクホークスファン。

お忙しい中、たくさんの方々に「こぞって」ご参加いただきありがとうございました。当日は楽しんでいただけましたでしょうか？

また、準備段階から「こぞって」支えていただいたみなさまにも心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

おかげさまで、子育て中のみなさまを「こぞって」支える場が、年代や地域を越えて、次々と個人が繋がって生み出されました。多くの方々が、ちょっとしたことでも役に立ち、子どもたちやその親たちを支える可能性があることに気づかれたのではないのでしょうか。

そして、これから結婚を考え、子育てを迎える若いみなさんへも「私たちが近くにいるから大丈夫だよ」という地域からのメッセージを届ける場になったのではないのでしょうか。

さあ、これから港区は楽しくなります。そのポイントは3つありそうです。

「話」・・・もっともっと「おしゃべり」をしましょう。

「輪」・・・もっともっと「縁（円）」をつくっていきましょう。

「和」・・・もっともっと「仲良く」なっていきましょう。

そんな、「話」と「輪」と「和」が重なって、港区に「こぞって」支える人たちが増え、安心な子育てのまちになっていくことを期待しています。

まだまだ、時間はかかります。が、あせらず、あわてず、あきらめず、で、みんな「こぞって」頑張ってください。



# ●●● 芝地区グループディスカッション ●●●

## 実行委員レポート

学生2名、子ども家庭支援センター職員、センターの講座を受講して子育てサークルを立ちあげたばかりの赤ちゃん連れの2名のお母さん、実行委員の私を含め6名のグループだった。バリアフリーについて熱弁をふるわれているお母さんもいらっしゃったりで非常に盛り上がり、「地訓」を考える時間がなくなってしまう程だった。

(実行委員：中鉢康子)

地域ごとの特色があるなと思った。同じグループのアクティブなシニア男性が、最後に手を上げて発表し、街全体が芝の児童館だと思って子育てしてくださいと言ってくれた。子ども家庭支援センターの所長とその他男性ばかりのグループだった。20代30代60代と各世代がいた。60代の方が、来年度明学で行われるチャレンジ大学に入るそうで、学生証が貰えると嬉しそうに話していた。地元地域が大好きという方が参加している、いいグループに入ったと思った。とても楽しい時間だった。

(実行委員：大西麻子)

5人のグループだった。うまく進行することが難しかった。熱い思いを語ってくれる方の思いが前面に出て、他の方の意見をくみ出すことができなかった。グループとしてみんなの意見をまとめるのはとても難しいと感じた。

(実行委員：宇山真紀子)

グループでの話は、あいさつをして声かけよう、近所づきあいしよう、外へ出て人とふれあおう、人の子どもにも目を向けよう、施設を減らさずに充実した地域にしよう(芝児童館閉鎖を聞き)、芝地区はサラリーマン多し、子育てしやすい町にもっともっと変えよう、などがでた。メンバーは、皆さん積極的に子育てに関わろうとしている方ばかりで、話しをしている中でパワーをたくさんもらった。初めて会った感じがしないぐらい、共通の話がテンション高くできるって素晴らしいですね。楽しいテンションの高い良い時間をありがとうございました。

(実行委員：裕田 栄)

私のグループは、芝地区在住者が一人で、区内在住も私とその方だけだった。芝の方は民生委員の60代くらいの男性で、わりとうまくいっている地域と話され、そうなんですかーという話で終わってしまった。

他には、新橋の児童館に勤めている方が、最近の子ども達の遊び方が変わっている、うまくコミュニケーションが取れなくなっていると感じている。仲がいい子とは遊べるが、知らない子とは同じ場所にいるので誘っても遊べない子がいる。子どもが変わってきているのではないか、どうなんだろうという結論が出ない話となった。

(実行委員：金地ひかる)

企業の社会貢献担当者が参加してくれ、港区という地域性があったように思う。中高生の子どもがいるお父さんで、地域でサッカーに関する活動をしている方だった。港区の企業の方と話ができてよかった。企業が、企業内保育所を作るということではなく、地域に入ってきてくれたことが、私には新鮮でとてもよかった。

実行委員なのに懇談会にどっぷり参加できたことがとてもよかった。地域には子育て世代以外のいろんな世代にも、関心をもっている方が一杯いることは驚くべきこと。それぞれつながりたいという思いがあるが、つながれていないという現状があることを実感した。

(実行委員：影田智子)

民生委員の方が多かったので、地域活動や児童館での活動の話が中心になった。皆さん面倒見のよい方ばかりで、地域の世話役というかんじで、地訓をまとめてくださった。子育てを応援してくださる方がこんなにもいるとわかりパワーをもらった。私たちの会が、地域の子育てを応援できる存在になれるよう活動を充実していきたいと思う。参加していた民生委員の方々は、他にも地域のお世話役として、自治会や町内会の役員などをいくつも掛け持ちしていて、自分たちの後を引き受けてくれる人がいなくて困っているようだった。挨拶しても無視されることが多いけれど、根気強く声をかけていると、会釈くらいはしてくる、という話を聞いて、コミュニケーション能力の低下というより、人としてのマナーがない人が多いことを痛感した。

地域の防災や交流の拠点としての学校が、その機能を奪われつつある。学校選択と学区廃止によって、人気の高い学校と低い学校の格差が固定化しつつあり、地域の学校がなくなるところも、今後さらには増えしまう。小学校がなくなる、子どもたちがなくなることは、地域から活力を奪うことになるのでは、という懸念の声もあった。都会の利便性や子どもの学力向上ばかりを追い求めることは、人間として身に着けるべき、思いやりの気持ちや生きていく力、人間力みたいなものを学ぶ機会を子どもから奪ってしまうことなんだと、改めて感じた。

かといってなにができるのか。地域の様々な志を同じくする人達と連帯して、自分がちょっと努力すればできることをする。次は地域の危険地帯やバリアフリー度チェックなどできたらいいなと思う。

(実行委員：志牟田美佐子)

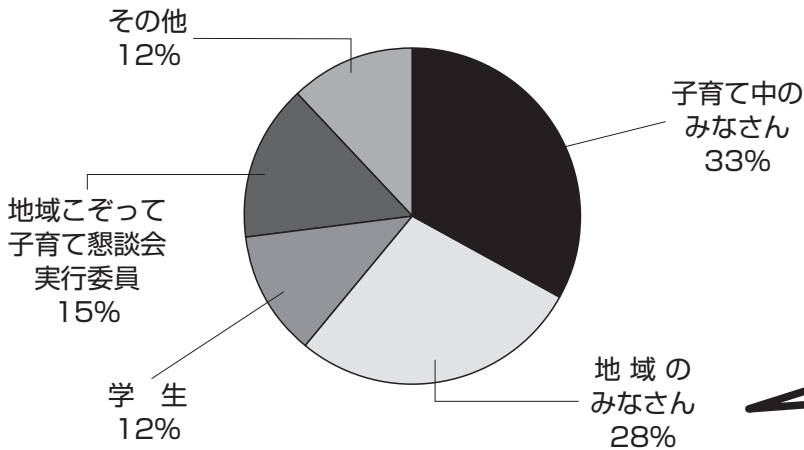
子育て中の人自分だけだった。子ども家庭支援センター職員と学生とファシリテーション協会からの30代の女性、他区から参加していた聴覚障害をおもちの女性がいた。手話通訳の方も同席され、いろいろな立場と世代の人がいるグループだった。聴覚障害の方は、今働いていて将来子どもを産みたいが、仕事と子育てを両立できるかわからないが、話をきける人もいないので参加したという。30代の女性は、子どもがどんどん減っているの産め産めという風潮があるけれど、産んだ後やっていけるのかという不安や世間の冷たさを感じるの産むことにとまどいがあるという話をしていて、いろいろな立場の人がいて、世間一般の子育て中の人に対する思いがきけてよかった。子どもがいる社会、お父さん・お母さん、おじいちゃん・おばあちゃんなど家族がいる社会がふつうの社会だよ、という話になった。だけどそれが、都心だからできないとか、こういう時期だからできない…ではなく、皆ふつうに生活できたらよいのね、と話した。どうすればいいのかな?と話したが、途中で子どもが泣いたので、まとめがどうなったかを聞けなかった。

同じグループメンバーからの話によると、地訓としては、いろいろな価値観が認められる今の世の中なのに、一方、公園であいさつしたら子どもがさらわれるんじゃないか、という心配もある。最低、地域のルールには何をすればよいのかと話した。年配の女性が、以前保育園に勤めていたので子どもたちと関わっていきたいが、なかなかむずかしいと話された。そこで、地訓は理想でもいいだろうということで、どちらも(子育て中の人も、そうではないけど関わりたいと思っている人も)一歩が必要。一歩とは、やはりあいさつだろうとなった。なので、誰かと1日最低20分はしゃべろうということになったーとのことだった。

(実行委員：北川あす香)

子育てをささえる地域創りのためのラウンド・ミーティングには、  
**どんな人たちが参加してくれたのかしら？**

1月13日高輪地区編参加者

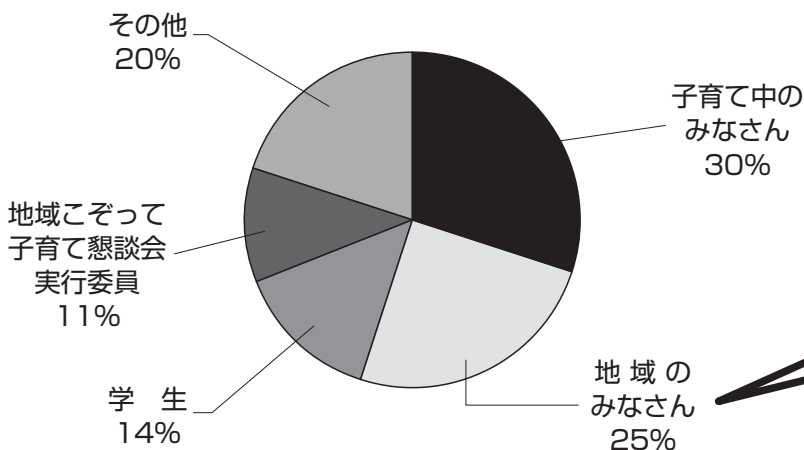


**地域のみなさん：**

地域の子育てに関心のある方、民生委員、主任児童委員、青少年委員、保護司、子育て家族支援者、子むすびサービス協力会員、町会、児童館見守りボランティア、保育園職員、文庫活動者、NPO、ケーブルテレビ、助産師、保育士、その他

\*その他とは、港区立子ども家庭支援センター・明治学院大学社会学部附属研究所のスタッフ等

1月27日芝地区編参加者



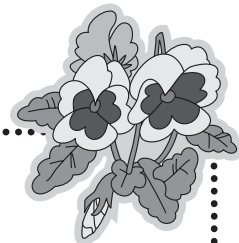
**地域のみなさん：**

地域の子育てに関心のある方、企業社会貢献担当者、民生委員主任児童委員、子育て家族支援者、児童館職員、助産師、保育士、ライター、その他

\*その他とは、港区立子ども家庭支援センター・日本ファシリテーション協会・明治学院大学社会学部附属研究所のスタッフ等







### デイジーチェーン

北川 あす香

私は、昨年に行われた明治学院大学での子育てミーティングにも参加したが、今回は2地区での開催、子育てグループの紹介の他にグループ毎に懇談という時間が設けられとても有意義だったと思う。短い時間ながら「子育てしやすい街を目指した『地訓』」を作るという共通命題を与えられ、様々なバックグラウンドを持つ方たちと話し合いながら意見をまとめていくというのは、実行委員側からすれば難しい面も沢山あったが参加者という立場からすると受け身ではなく自分から積極的に関わり、「参加した」実感が伴い、そういった意味ではとても良かったのではないかと思う。地域で「まるごと」子育てといっても、地域って?子育ての支援って?他人とのコミュニケーションがもともととりづらい都心ならではの課題も多いが、特に子育て中で、社会の様々な立場の人たちと日常出会う機会がないママたちにとっては、何かを思い、考え、地域社会への一歩を踏み出していくお手伝いが出来たのではないかと思う。

### La、La、La、

宇山 真紀子

今回この企画に参加させていただき、私もサークルも得るものが多かったと思います。私にとって何よりだったのは、作っていく過程で他のサークルとつながれたことだったと思います。企画内容だけでなく、たくさんの意見や情報の交換が出来たことも勉強になりました。講座も、題材プラスアルファがあり、良かったです。これからの活動があることに期待をしています。



### おさんぽくらぶ

石橋 千恵子

それぞれの子育てサークルに参加していると言ってもバックグラウンドはさまざま。初めて知り合った実行委員も多い中、事前の講座を企画していただいたことで同時土俵で話す下地がスムーズに出来たように思います。ただ、実行委員それぞれが時間的制約もあり、地域での子育ての問題を共有できるまでにはいたらなかったのが残念です。このつながりを絶やすことなく、これからも少しでも前へ進めていけたらと思っています。



## おおきなき

廣田 千秋



最初は訳の分からないまま実行委員会に参加していました。回を重ねるごとに「地域こぞって子育て懇談会」のことが分かりつつ、でもまだ何をするのが分からなかったのです。活動スキルアップ講座の第3回プレゼンスキル講座においてサークルの紹介をしたとき、頭はこんがらがり自分はいったい何を伝えたかったのかが分かりませんでした。でもみなさんからのご指摘と先生のお話によって、色々な切り口でプレゼンする方法を学びました。その頃からでしょうか、「地域こぞって子育て懇談会」の全容が見えてきたのは。他のサークルの方たちとも知り合いになれてなんだか新しい居場所が見つかったようで実行委員会に参加するのが楽しくなりました。2会場での懇談会もとても充実した内容で楽しいものでした。分からないと言っていた自分もようやく分かるようになりました。明治学院の皆様、Wa.Wa.Waの皆様参加させてくださりましてありがとうございます。感謝いたします。さて、分からないはいくつでてきたでしょうか？

## La、La、La、

中鉢 康子

港区地域こぞって子育て懇談会に実行委員として参加してみて、「地域・人との繋がり的重要性」を実感しました。企画立ち上げの時点では実行委員として正直、戸惑いもありましたが、懇談会の開催が近づいてくるにつれ実行委員同士で熱の入った意見が飛び合い、気合いも十分に当日を迎えることが出来ました。幅広い年代の方に参加していただき後半のグループに分かれての話し合いも各グループ活発な意見が飛びかっていたようでした。私のグループには、1歳児を持つお母さんから街のバリアフリーという意見・要望が出ました。5歳児を持つ私には、街を歩いていても不便を感じる事は殆どありませんが、自分の子どもが小さい時に駅の階段などでベビーカーで大変だったときの事を忘れてしまっていた自分に反省でした。これからは、地域全体でお互い助け合い協調して街づくりが出来る港区になりますように。



## ポニーの会

志牟田 美佐子

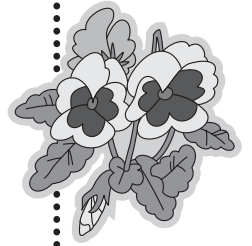
専業主婦となって子育てに専念することになっても、孤立することなく、社会や地域と繋がって活動することができることを実感しています。そして、地域の皆さんの中にも、子育てを応援してくださる方が沢山いると感じる事ができて、心強い思いでいます。主催の明治学院大学社会学部附属研究所の皆様がお膳立てしたステージに、私はちょこんと乗せていただいた懇談会ですが、スキルアップ講座など今後の活動をしていく上で、大変役立つ内容でした。また、みんなでアイデアを出し合って運営にも少し係わることで、港区の育児サークル同士の情報交換ができて、連帯感を高めるよい機会になりました。今後もみんなでなにかやろうという意識が高まっているように感じます。このような場を与えていただいたことに感謝します。





## ポニーの会

影田 智子



たくさんの新しい素敵な出会いがありました。地域のおじいちゃんに出会った長男は「また〇〇さんにあいたいなー」と時々思い出してはつぶやきます。こんな出会いは子どもと母親だけで暮らしている毎日からはなかなか得られません。キッズサポートセンターと明治学院の社会学部附属研究所のスタッフの方、学生ボランティアの方と子育てサークルの3者のコラボレーションで懇談会が実を結んだように思います。地域社会のつながりが薄れつつある昨今、新しいつながりの可能性の芽生えを感じました。回を重ねて、新しい子育て中の父母の皆さんや地域の方々との出会いの中で新しい地域社会のあり方の模索ができればいいなと思います。

## 高輪ハッピーママーズ

伊佐見 節子

昨年の秋から実行委員会の活動がスタート。漠然としていたものが具体化され実施できたのは、いろいろな支えがあったからだ実感しています。お世話になりました。活動スキルアップ講座で学習したことを即活かす皆様のパワーはすごいです。目標に向かってまとまり達成していく醍醐味を味わいました。ありがとうございました。現在、日本の少子高齢化が深刻な問題になっています。人口が減少すれば、ますます地域コミュニティの役割は重要になります。サークル同士がつながることは、人と人の絆ができ子育て支援活動が幅広く展開されることになります。この企画で知り合えたことは大きな実りです。つながった輪は大事に育てていきたいです。そして、人の輪が広がっていくよう活動していければ…。これからも、多くの人と出会えることを楽しみにしています。



## 青山ライオンズキッズクラブ

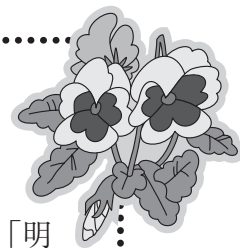
伊藤 静華

育児は大変!と思ってばかりでしたが、今回地域こぞって懇談会の実行委員会に参加して子育ての楽しさ、それぞれの子育ての思いを感じ、良い体験をさせていただきました。スキルアップ講座などサークルとしても又一段とレベルアップできたと思います。そして、何よりも実行委員の皆さん、明治学院大学のスタッフの皆さんと一緒に出来たことに感謝いたします。ありがとうございました。また、よろしく願いいたします。



## サコダ運動遊びくらぶ

裕田 栄



私は、実行委員で活動させていただいて「何が一番良かったのか?」と振り返ってみると、「多くの人、仲間と出会って1つにまとまった事」だと思いました。初めは、「明治学院大学まで遠いなあ〜」「真冬でカゼでもひいて講座参加〔スキルアップ講座に実は行きたくて参加した〕どころじゃない、実行委員にはならなくてもいいわ〜」と正直思ったのですが…。〔笑〕委員会に参加したら、あっという間でした。普段意欲的に動いている人達ばかりで、どんどん進むのです。そして、講座当日、「ただ聞く、ただ話す」だけではない、動きのある、笑いのある大変楽しい実のある2時間半になりました。当日会場では、「地域で子育て」共感できる意見がポンポン出て、びっくりしました。次回も出来ましたら、自分自身も更に勉強して動いて、新しい出会いを楽しみに参加したいと思っています。最後に、全スタッフの皆様、「いい企画!いい出会い!」をありがとうございました。

## La、La、La、

金地 ひかる

この度は、港区地域こぞって子育て懇談会の企画に参加させていただき、どうもありがとうございました。参加するにあたり、私に出来る事はあるのかしら…という、自信のない気持ちで一杯だったのですが、今回参加されたほかのメンバーの方々のパワーに乗せていただき、又、回を重ねていく中で本当に皆様から沢山の勇気やエネルギーを分けていただいたような気が致します。そして、何よりも皆の力が合わさると、パワーが何十倍、何百倍にもなるのだなあ…と実感いたしました。結局、お役に立てていたのかどうかは、ギモン?では、ありますが、私自身はこのような会に参加できた事で、少しは成長出来たのでは…と、いう気がしております。皆様、どうもありがとうございました。



## 青山ライオンズキッズクラブ

大西 麻子

子育てをはじめますますやりたいこと、挑戦してみたいことが次々とでてくるなか、サークル活動を通じてこの企画に参加できてとてもいい経験になりました。講座で聴く話は、とても新鮮で気づかなかったことやどうしたらいいか考えていた事がクリアになってこれからどんどん活かしていこうと思います。一つの目標をみんなで達成する事って楽しいなって思いました。いろんな世代の人と地域のつながりを大事にしたい…という思いを共有する事もでき、人と人はいつもつながってるんだな…ということも感じました。同じような活動をしている力あるママたちと知り合いになれたのもとってもいい機会になりました。またこのつながりで、自分たちで何か企画したりしながら子育てを楽しめるママ友が増えるといいなと思います。







**人**  
私は応援隊の活動を通して様々な出会いができたことにも感謝しています。立場が違う色々な人の、生の声が聞けて私自身色々考えさせられるものがありました。そして、この今回の懇談会が、子供の有無を問わず地域コミュニティの発展の場になることを願っています。  
社会福祉学科4年 柏木千里

**和**  
ラウンドミーティングに参加して、様々な世代の人と話すことができ、とてもいい経験になりました。ありがとうございました。子育て中のお母さんだけでなく、子育てについて関心を持っている人がこんなに沢山いるんだ!と本当に嬉しくなりました。地域で子育ては夢じゃない♪  
私も頑張っていきたいです。  
心理学科2年 白鳥絵梨奈

**温**  
港区のみんなが子育てを通してつながり、みんな真剣に語り、子供ってみんなの子供だからって幸せな気持ちになりました。  
消費情報環境法学科3年 中根磨美

**想**  
基本的に、パパ・ママには時間がないということが新たな発見。家庭における夫婦の会話がそもそも欠けているらしい...。親がハッピーじゃないと子どもだってハッピーじゃないよね。やっぱり子育てしている人たちにはいろんな支えがあるべきだし、つながりてのは大切だなと思う。  
社会福祉学科4年 辻村剛

**明**  
地域の方や当日は参加する姿をみて、わかってよかったなと思いました。住んでいても元気あって、よ、また子育てをするお母様を感じる事ができました。かけがえのない子供、この企画をきっかけにして着目の子育て交流が進むことを期待しています。  
社会福祉学科3年 浅野航

**会**  
お母さん方の話し合いに参加させてもらって、その勢いや熱さに圧倒されはなしてました。子育てや地域の事についての思いを聞いていると、これから社会に出て子育てなどを体験する時に、私もきちんと考えなくてはいけないと感じました。  
社会福祉学科3年 二又川潤一

**成**  
保育所に入れない、交通機関等の利用が不便... など、子育てって本当にいろいろ大変なんだなあと思わせられました。でも、今後行政や地域の人々をひっくるめて、子育てしやすい港区へと発展していくことを確信と期待できました!  
政治学科4年 川田佳永

**輝**  
それぞれに輝いている子育てママ達とお会いし刺激を頂き、応援隊のみんなの輝く目に出会い共に活動しとても楽しかったです! これからも子育てについて熱く考え、関わっていきたいと思います! ありがとうございます!  
社会福祉学専攻M1 三原路子

**繋**  
「地域で子育てをする」その力がいまの社会に必要とされているはずと日頃感じていたので、学生としてその車輪に携われたことを嬉しく思います。地域の人々が目の前で繋がれた瞬間のよろこびずっと忘れません。  
英文学科4年 矢澤彩美





# 港区地域こそって子育て懇談会 2007年度へ向けて

2006年度港区地域こそって子育て懇談会実行委員会は、2回の懇談会開催の後、2月23日最後の活動スキルアップ講座において皆と学び、また事後2回の実行委員会で今年度の懇談会の反省と共に、次年度へ向けての抱負を語って、解散しました。

来年度2007年度への抱負として、グループをこえたつながりである「みなと子育てネットWa.Wa.Wa」がネットワーク組織としての体制固めを行いつつ、「港区地域こそって子育て懇談会の企画立案を担いたい!」という声が上がっています。

「ワーク」を「ネット」するネットワーク\*として、「みなと子育てネットWa.Wa.Wa」が、地域の子育てを考え実践するための、楽しく有意義な本懇談会を企画できたらいいね~というわけです。

明治学院大学社会学部附属研究所は、今後も、地域の子育て相互支援を担う各グループの活動と共に、グループをこえたつながりである「みなと子育てネットWa.Wa.Wa」の活動を大いに応援したいと思っています。ぜひ本懇談会の2007年度企画を、「みなと子育てネットWa.Wa.Wa」が担えることを期待し、惜しまずバックアップできればと考えます。地道な活動者たちのつながりが、地域でまると子育ての土壌を耕し、いつか花咲くであろうその道筋に寄り添えたら、と思います。

地域の皆さま方のますますのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

※「ワーク」を「ネット」するネットワークとは、ただつながるのではなく、共に達成したいことを共有しながらつながる、そのような「ネットワーク」を意味している。(日本ファシリテーション協会加留部貴行氏による資料より)

# 港区内子育てグループの活動紹介

## (当日配布した各グループの資料集)

「地域こぞって子育て懇談会」当日、区内で子育てサロンや子育て相互支援活動を行っているグループが、地域の皆さんに向けて活動紹介（プレゼンテーション）をしました。

以下のページの活動紹介資料は、当日に向けて、活動スキルアップ講座の成果を生かして、各グループが工夫を凝らして手作りしたものです。

(当日の紹介順です)

**みなと子育てネットWa.Wa.Wa**

**ポニーの会**

**おおきなき**

**おさんぽくらぶ**

**サコダ運動遊びくらぶ**

**高輪ハッピーママーズ**

**デイジーチェーン**

**La.La.La.**

**青山ライオンキッズクラブ**

**めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊**

みなそれぞれ子育てをとおしての地域創りをめざしています～

## ㊗ みなと子育てネット

Wa . Wa . Wa ㊗

はじめまして！

港区内のサークルを繋ぐネットが誕生しました。

名称は「みなと子育てネット Wa.Wa.Wa」です。



「港区にはどんなサークルがあるの？」

「どうしたら参加出来るの？」

「子どもがいても大丈夫かしら？」

子育てサークルがあってもやっているとわからなかったり

「サークル同士でつながりたい」「異世代の人ともつながりたい」

という声に答えるため、今までなかった横のつながりをもつネットを立ち上げることにしました。

[Wa]には、話・輪・和・環・倭・羽・把・我・吾・杷・琶・・・  
いろいろな思いが含まれています。

みんなのサークルと繋いで楽しくやりたいという願いを込めました。

現在「みなと子育てネットWa.Wa.Wa」とつながりを持つサークルは  
おさんぽくらぶ・高輪ハッピーマーズ・おおきなき・デイジーチェーン  
La.La.La・ポニーの会・青山ライオンズキッズクラブ  
サコダ運動あそびくらぶです。

「みなと子育てネットWa.Wa.Wa」は、つながりの輪を広げたいと思っています。毎月一回集まっていますので、グループを超えた場「Wa.Wa.Wa」にぜひ遊びにいらしてください。お待ちしております。

活動日 第2金曜日 10時30分～12時

活動場所 明治学院大学 社会学部附属研究所

プレイルーム



ともに幸せの道を歩めるようにと願い、これからも子育て応援隊として、よりよい子育ての環境づくりを目指して活動していきます。

どうぞ、よろしく申し上げます。

連絡先 発起人 伊佐見節子 FAX5423-0537

# ポニーの会

赤ちゃんマッサージ  
&  
親子でリズム体操

月ようび 10じはん～12じ

♪ごあいさつ

♪マッサージ (童謡を歌いながら)

♪リズム体操 (音楽に合わせてママと一緒に体を動かそう)

♪絵本の読みきかせ

豊岡児童館3F 第2クラブ室 (第 1. 3. 5月曜)

飯倉福祉会館2F 和室 (第 2. 4月曜)

Mちゃん.Kちゃんママ

小1と年少の女の子のママです。  
長女は今だに♪ラララぞうきん♪とマッ  
サージをすると体をくねらせて笑います。  
ここで出会ったママたちとは、育児は勿  
論、家庭のことや最近気になることなど  
ぶっちゃけトークして、ストレス解消し  
てます！

(三田在住)

Rちゃん.Yくんママ

2歳の女の子と3ヶ月の男の子のママです。  
この会に入って親子で友達ができました。  
毎週、体操に行く～♪と張り切っています。  
私は先輩ママに悩みごとを話して、子供は  
みんなで遊んで、親子でスッキリして帰  
ります。

(三田在住)

Nちゃん.Rちゃんママ

小1と3歳の女の子のママです。  
夏の水遊び、クリスマス会を楽しみに  
しています。これから子供が大きくな  
っても、この交流は続けていきたいと  
思っています。

(三田在住)

Kくんのママ

2歳の男の子のママです。  
お台場へ水遊びに行ってから、水を恐が  
らなくなりました。みんなの遊んでいる  
姿が刺激になったんでしょうね。これか  
らいろいろなことに刺激をうけて、頼も  
しい男の子になってほしいです。

(三田在住)

ほかにも、南麻布・芝浦在住のママがいます。



～育児サポーターが  
みんなの見守りを～

子供達にとってはおばあちゃんママ  
にとっては子育ての大先輩、頼れるサ  
ポーターがみんなを見守ってくれます。  
保育士、看護師、教員など様々な  
経験と技術のある先輩ママが  
相談にのってくれます。

～異年齢の子供達が  
兄弟姉妹のようにガヤガヤと～

小学生・中学生・幼児・生後3ヶ月の赤ちゃん  
違う年頃の子供が集まってガヤガヤ遊ぶ、  
クリスマス会や水遊びなど年に数回おで  
かけやパーティーもしています。大勢で  
テーブルを囲んで食事をするのって、  
ホント美味しい！です。

年間スケジュール

4月 お花見

8月 水遊び（お台場潮風公園）

12月 合同クリスマス会

～その他 お料理会・味噌作りなど～

入会金 100円

月会費 1000円

内訳

新婦人会費 700円  
（週刊新婦人しんぶん代含む）  
ポニーの会運営費 300円

ブログも見てね！

<http://www.goo.ne.jp>

携帯からは

[http://blog.goo.ne.jp/  
ponynokai](http://blog.goo.ne.jp/ponynokai)

新日本婦人の会(略称 新婦人)は・・・

1962年 平塚らいてう、いわさきちひろさんらのよびかけ  
で創立、現在会員20万人となり、個人加盟では、日本最大の  
女性団体です。くらし・子育て・平和など女性の願いを実現  
するために活動しています。日本全国で趣味・文化や健康、  
子育てなど様々な要求実現のためのサークル(小組)があり、  
子育てに関する小組は約2000組あります。

2003年春からは国連NGOとして正式認証され、世界の女性  
と連帯して活動をひろげています。

ホームページ <http://www.shinhujuin.gr.jp>

連絡先

090-8101-3063(シムタ)

03-3442-2591(新婦人港支部)

おおきなきのしたで

あなたとわたし

なかよく

はなしましろう



# おおきなき

私たちは

「子育て家族支援セミナー母とこどものすこやか講座」と題して  
保育付きの講座の企画とコーディネーターをしています。

保育付きだから  
安心して講座に  
集中できるのよ



保育が  
あるんだね



子育ての中で、大きな壁小さな壁に  
ぶつかることが多々あります。

ここに集えば「解決のヒントを得たり、  
リラックスできるような」そんな空間  
を提供したいという思いで活動して  
います。

(お お き な き の と こ)

e-mail [ookinakinotoko@yahoo.co.jp](mailto:ookinakinotoko@yahoo.co.jp)

協力：明治学院大学社会学部附属研究所

協力：特定非営利活動法人ひさし総合教育研究所「子育てネットで健やか思春期・爽やか家族」事業



# おおきなき Q&A

あのね・・・



なにになに？

## Q1 名前の由来は？

おおきなきという絵本からです。樹木の実や葉・幹・根がひとを支えるお話です。「おおきなき」の「き」は「木」や「気」のイメージです。

## Q2 どんな活動ですか？

講座は、少し先を見据えた子育てについて学ぶことや専門的なもの、リラックスもの。いろいろな分野から講師をお迎えして、座談会形式で子育て・自分のこと・親のこと・生活のことなど話し考える場を提供したいと思っています。

## Q4 保育付きとは？場所は？

保育付きなのでお子様と離れてじっくりと学んだり、リラックスできる講座です。今年から明治学院大学社会学部附属研究所さんのご協力のもと同所で活動しています。

## Q6 協力の「特定非営利活動法人(NPO)ひさし総合教育研究所」とは？

渡部陽子氏が、東京都公立中学校定年退職後設立。思春期の子どもたちの健やかな成長を願って、「子育てネットで健やか思春期さわやか家族」を合言葉に、家族や学校・地域での人間関係づくりを通して、大人も子どもも各々のライフステージの発達課題を達成していく心理社会的環境づくりを目指す。平成11年以降、港区・世田谷区・稲城市などで参加型セミナーシリーズを主宰している。

## Q3 今までの講師と内容は？

### ●平成17年「親の心 子の心」

| テーマ                                   | 講師                          |
|---------------------------------------|-----------------------------|
| 携帯電話と子どもたち                            | 渡部 陽子 ひさし総合教育研究所代表          |
| リラクゼーションへの誘い<br>子育てのツボ<br>(舞踏鑑賞とヨガ実習) | ゆふがほ きらら 舞踏家<br>ヨガ講師        |
| 子どもの育ちを見守るということ                       | 川野 健治 国立精神神経センター<br>精神保健研究所 |
| 子育て心の問題Q&A                            | 手塚 一朗 さいとうクリニック<br>家族機能研究所  |
| 音楽でリラックス                              | 田村みどり                       |
| かごづくり                                 | 竹内 祥子                       |

### ●平成18年「頼り上手 相談上手」

| テーマ              | 講師   |
|------------------|--|
| 相談上手ということ        | 渡部 陽子 ひさし総合教育研究所代表   |
| 人にうまく頼るということ     | 川野 健治 国立精神神経センター<br>精神保健研究所  |
| ちょっと動いて<br>リラックス | 鈴木由美子 鍼灸師・あん摩・マッサージ・指圧師<br>日本アロマテラピー協会認定1級<br>フェイシャル・妊産婦マッサージ・<br>子ども向けマッサージ |
| 話してスッキリ          | 手塚 一朗 さいとうクリニック<br>家族機能研究所   |

## Q5 今後の予定は？

4月から毎月第4金曜日の午前10時30分～12時、明治学院大学社会学部附属研究所ブレイルームにて「はなすかい」をします。



# おさんぽくらぶ



港区&周辺地域のお出かけ情報、イベント情報満載！  
親子のためのフリーペーパー「お・さ・ん・ぽ」を  
毎月作成、発行しています。

配布場所：各児童館、高輪・港南図書館、なんでも、みなと保健所（三田）、  
ほっとルーム、支援センター、ぱるーん他

連絡先 おさんぽくらぶ E-mail osanpobox@yahoo.co.jp  
FAX 03-5445-3977

フリーペーパー作成の鍵はなんと言っても「情報力」  
地域の子育て情報はやっぱり口コミ！

おさんぽくらぶの主な  
活動です。

## おさんぽの集い

子どもを遊ばせながら顔つき合わせて情報交換。今のところ月2回、明治学院大学社会学部付属研究所のプレイルームで行っています。

第1木曜日（おさんぽ印刷）

第3木曜日（ママが講師になってプチレッスン）

♪明治学院のボランティアの方が子どもたちと遊んで下さいます。（^-）

## メーリングリスト

集いに参加する時間がない！遠くてなかなか明治学院まで行けない！、、、という人のためにも、メーリングリストによる情報交換をしています。参加者の多くは子育て中のママたちですが、徐々に多彩な顔ぶれも加わって、とても中身の濃いものとなっています。

地域の子育てに関心のある方ならどなたでも参加OK!

## ブログによる情報発信

もっともっと多くの人とつながりたいから、、、港区&周辺地域の子育て情報をブログにして発信しています。

おさんぽブログは→  
港区の子育てママのためのおさんぽ  
[http://blog.goo.ne.jp/osanpo\\_club/](http://blog.goo.ne.jp/osanpo_club/)  
アクセスしてみてね!

ちょっとだけ、フリーペーパーの中身をお見せします!

「お・さ・ん・ぽ」37号(2006年10月号)の一部です。  
《次ページに続く》

## まだまだ続くよ!白金台情報

白金台はプラチナ通りのおしゃれなイメージが強いけど、自然豊かな場所や公園、児童館など、子どもと楽しめる場所もたくさん。

思いっきり走り回りたいor座ってくつろぎたい  
→・東京都庭園美術館の庭園  
お庭だけなら200円で入れます。お天気がいい日のひなたぼっこが気持ちいい。

ぶらぶら散歩で秋を満喫  
→・国立科学博物館付属自然教育園 月休 入園料 大人210円  
まさに都心の真っ只中の豊かな自然。一周するだけでも結構満足感得られます。

時間がないときにもちょっぴり秋  
→・東京大学医科学研究所  
通り抜け可なので白金台駅⇔プラチナ通りの近道。これからの季節色づいた落ち葉が建物の雰囲気とマッチして素敵。

紅葉の美しさを堪能したい  
→・八芳園  
春の桜の時期はわずもがな、秋の紅葉の時期も素晴らしい。下が砂利道で階段も随所にあるのでベビーカーは避けて。

玩具で遊ぶなら  
→・白台児童遊園  
こじんまりした公園だがだいたいいつも程よく子どもがいて日常使いの公園として適。

今後に期待したい  
→・どんぐり児童遊園  
まだまだ開発途上か草はボウボウ、遊具(スプリング遊具)はたった2つ。全然くつろげません。

室内遊び場だったら  
→・白金台児童館  
近年、周辺に子どもが増えてきたことも手伝って、年齢別親子のつどいの日は大盛況

幼稚園を考え始めるころ  
→・白金台幼稚園  
未就園児のためのペンギンクラブが充実。

いろいろ使い分けてみてね!



おさんぽにいきましょう

さわやかな風にさそわれて

### 白金台プラチナ通り周辺へ



#### ベビーゲース

ベビー洋品店。店外にバスケットが置いてあり、雑誌ひよこクラブの付録(レシピ集とか)など入れられ、自由に持ち帰りできるようになっていました。オリジナル商品で背中部分がメッシュになったスリーパーなどあります。

#### LA CARTA

輸入物のカードショップ。プラチナ通りの名にふさわしい上質でおしゃれなカードがずらり。何かのときにはぜひ!

【コース紹介】白金台駅→こころこあ→Per regalo(ビュッフェランチ)→ラファリーヌ(クッキー購入、おさんぽしながら食べる)→Cou Cou→KoKoRo→ペニーワイズ(家具を見る)→ベビーゲース→金麦(パン購入)→日東坂下遊び場(パンを食べながら遊ぶ)(おさんぽ隊)

#### レカイエ

テラス席に布クロス。子供が大きくなると無理そう。♪テラスでなら子供と一緒にでも大丈夫。子連れママ結構います。(白金在住ママ)

#### 日東坂下遊び場

遊具は滑り台たったひとつ。でも近所の方が寄付してくださった三輪車だの、手押し車だの、お砂場セットなどがたくさんあるので、子供は飽きることなく遊びます。今日も泣き叫ぶのを抱きかかえて帰りました。

#### ペニーワイズ

家具。パイン材が多い。勝どきにも大きな店舗があります。

#### カッシーナカナミツラ

♪狭い店内少数ならベビーカーでも大丈夫。(白金在住ママ)

#### フルーポイント

道路沿いのテラス席に座ると、午後は西日がちょっと気になる。私が行ったときは、店員さんがより快適な席に誘導してくれました。

#### ラボエム

子供用いすはあるし、テラス席はあるし、広いので、子連れママが行くところに困ったらとりあえずココへGO!

#### ラファリーヌ

クッキー、フィナンシェ、ケーキなど。小さい店内ですがやさしそうな店員さんとゆったりした音楽で癒されるお店です。

#### オリオールバラゲ

スペイン人のトップパティシエのチョコレート店。2Fまで階段を上らなければいけません。スタイリッシュな店内とチョコレート。とても高いので、バレンタインなどイベント用かな。

#### ho-ho-ho (ベトナム料理)

細い階段を3Fまで上らなければならず、ベビーカーはたたまないと無理。かわいらしい内装で、テーブルはビニールをかけてあるのですぐぼす子がいても大丈夫そう。取材時、食事はしませんでした。子連れOKですよ〜と店員さんが言ってくれました。

#### 金麦

子連れだと、子供用にクッキーをくれたりとても親切。揚げていない白いカレーパンとかあります。テラス席があり目の前が公園なので、子連れには利用価値高いです。

#### Cou Cou!

センスのいい子供靴、服がいっぱい!

#### KoKoRo

子供服がかわいいです。♪ジーンズにこだわる人におすすめ。ヒーリング系の雑貨や少しだけ輸入物の一味違ったおもちゃがあります。(白金在住ママ)

#### さくらさくら

離れのような完全に独立したスペースがあったので、赤ちゃん2名、2歳の子3名、幼稚園児1名、大人4名でしたが、気疲れせず利用できました。

・国立科学博物館 自然教育園

・東京都庭園美術館

#### カフェ茶酒 Kanetanaka

老舗料亭「金田中」が初めて手がけた和カフェ。テラス席がおすすですが早めに行かないと並ぶ羽目に。緑が見えてゆったりした気分になれます。おいしいけれど量はとっても少なめ。

#### ドーナツランド

テラス席があるので、ベビーカーをよく見かけます。

#### どんぐり児童遊園

この一画 東急ストア キャンドゥフラザなど

#### Per regalo

7月にオープンしたばかりのイタリアン。ランチビュッフェは1000円(平日、土日同料金)でこの立地でこの雰囲気、安い!! 3歳以下無料。小学生未満は半額。2階奥がテラス席になっていてとても広くボックス席もあり。テイクアウトのケーキあり。店内に個室があるがランチ時は使用料無料(ディナーは有料)。

#### こころこあフロアエスササイススタジオ

白金台駅1番出口出すぐ左。バレエストレッチ、ヨガ、特にピラティスに力を入れている。10月から、SOCATOTS教室開始。イギリス発、サッカーと音楽を組み合わせた知育、体育プログラムで就学前の子から参加可能。

#### こころこあ

今年オープンしたばかりかな? 1Fは雑貨ショップ。ミニカーなどおもちゃ、ヒーリングミュージックCD(試聴可能)、アメリカやイタリア製の子供用基礎化粧品、子供服あり。2Fで子供お絵かき教室(3歳から小2くらい)毎週開催。



# サコダ 運動遊びくらぶより



グルッ  
紹介!!

現在幼児の2児の母  
です。サークルではなく、個人  
で仲間、人を集め活動中。  
実は、自分が講師、先生なのです。  
(子供と身体を動かすのが大好き!!)

1人でも99人の子供、お母さん、お父さん方に身体を  
いっぱい使った遊びを行ってほしい。"運動遊び"  
でこんな事ができちゃった... できるよ...。是非おうち  
でやって見て!! という感じで会員になっていた  
だいた。児童館で巻くもい活動しています。  
たまに、いい事、いい事は皆んなに伝えた  
い〜! という事で、講座も開いています。  
どりも置くお願ひします。

代表者... さこだ児童保健研究所

石后田 栄

連絡先... FAX 3471-8250

Eメール... Sakae-@di.Pdx.ne.jp

この仕事で  
15年、1000人以上  
子供と接して、  
一生できるかな?  
天職さんです。  
☺

港南子ども中高生フウガ  
(親子) 月1回 (10:00〜と  
「レ」 11:00〜)  
「ト」ラ「ポ」リ「ン」&「運」動「遊」び  
(1才〜4才) 45分  
直接申し込み 誰でも参加OK  
(定員あり、各20名) H19.2.16(金)  
のレッスン受付中  
フウガ 3450-9576

小学生のリズムダンス  
もあります。  
(学年向け)  
水曜日(月2の予定)  
(4:00〜  
5:00)

港区スポーツセンター (武道場)  
月曜日 (月2回)  
同じ年友の子、親で行って  
います。器具を使ったり、  
リズム遊びを入れた運動遊び  
です。  
H17年度生まれ募集あり予定あり。  
10:00〜10:45の予定で、15名です。

H19年5月〜  
第1競技場でクラス  
を立ち上げる予定あり。  
(H15年度生まれ)  
募集は未定。  
(問い合わせ下さい)

ゆとり丸 (港南健康福祉館)  
99目的室  
同じ年友の子、親で音楽をかけてリトミック  
を多く入れた運動遊びを行っています  
水曜日月2回 2:30〜3:15  
(45分)

活動  
紹介!!





続きです。

「ゆとり式」で小学生のプライベートレッスン (体育ぎらい → 体育好きに。) を行っています。水曜日月2回 (4:00~5:00)

子ども家庭支援センター (会議室)

金曜日月2回 (3:30~4:30)

幼児 (2才~) 「かっほれ躍り」教室を立ち上げアシスタントしています。

背すじが  
ピン!!  
かっほれ  
かっほれ  
よーいとな  
ふいふい



9月から始めて、がんばってるんだね

この立ち方が、  
幼児にはとっても  
難しいん!

その他... 子供の

水泳のプライベートレッスン、保育園、幼稚園の先生向け講習会 (実技中心) を年1~2回、又保育園へ「運動遊び」講師として出向き活動しています。

「運動遊び」以外の講座の企画、実践としては... >

。親子スキンシップ講座、食育講座、応急救急護の実技講習会、幼稚園入園に向けての情報会等も行っています。

「他のサークルの皆さんへ」

子育てで、いっぱい悩める所もあるのですが、「運動遊び」でお役に立てる事があれば声をかけて下さいね。(親子運動遊び講習会など...)  
(友達程度にだけたのびた方がいいので..)

★各クラスの見学、  
連絡の上、どうぞ。

あ〜。終わった後の汗はおいしいな〜!

★アシスタントも募集中〜。体を動かすことの好きなお母さん、子供とたくさん接したいお姉さん〜などお待ちしています。



「ゆとり式」での2才見  
クラス





Takanawa  
Happy  
Mamas



♪ Chariot ~I will follow him~ (愛のチャリオット)

♪ Oh Happy Day (オー・ハッピー・デイ)

♪ Total Praise (トータル・プライズ)

♪ 翼を下さい

♪ Soon And Very soon (スーン・アンド・ベリ・スーン)

♪ Worship The Lord (ワシップ・ザ・ロード)

♪ Hail Holy Queen (ハイル・ホーリー・クイーン)

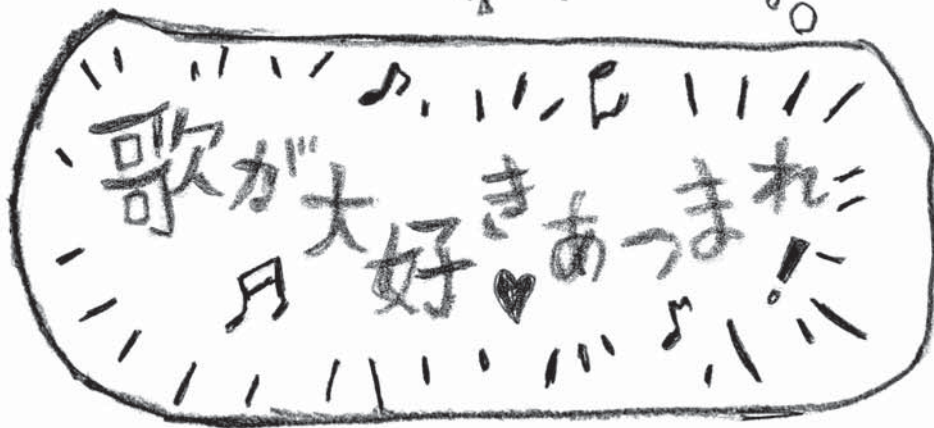
♪ Amazing Grace (アメイジング・グレイス)

♪ 赤鼻のトナカイ

..... etc リーダーの歌!



♪  
Happy  
Day





# ゴスペル

## 高輪

# ハッピーママーズ

- 活動場所  
高輪児童館  
高輪福祉会館
- 活動日  
月2~3回  
午前10時~12時
- メンバー  
約50名



ご迷惑ありません、ミ・ミセス!  
お子様連れ大歓迎!!

メンバー  
随時募集中

↓お問い合わせ↓

☎ 伊佐見 090-5525-8148  
細谷 090-2548-6158

✉ gospel-mama  
@hotmail.co.jp

＊ 遊びにいらしてください、お待ちしております!

■ グループ名

# THE DAISY CHAIN (デイジーチェーン)

The Local Support Group for Working Parents & Kids

■グループ紹介

デイジーチェーンは、アメリカから1歳の息子を連れて東京港区に帰国することになった新米ワーキングマザーが港区他東京での子育て情報や保育園情報が欲しくて、とある、ワーキングマザーサイトで港区在住の先輩ワーキングマザーにネットを通じて情報提供募集をしたのがきっかけで、港区三田・白金周辺のワーキングマザーが集まりました。保育園のお友達、小児科で知り合ったお友達、区外のお友達・・・と、すこしづつCHAIN(輪)が広がってきました。ママだけじゃなく、パパも子供たちと一緒に、ワーキングペアレンツ&キッズ生活をエンジョイするサポートをしています。アメリカ西海岸で体験した、楽しいファミリー生活を東京でもやりたい！自分の人生も、パートナーとの生活も、子供との生活も、もっともっとHAPPYに楽しみたい！、というのがグループ代表の願いです。仕事は辞めてしまったパパママでも、これから仕事を始めたいと思っているパパママでもモチロン大丈夫。港区社会福祉協議会の「子育てサロン」に登録しています。

■活動紹介

デイジーチェーンは働くママたちの、情報交換や自分の思いを誰かに伝えること、を主な活動にしています。皆忙しいので、なかなか会うことはできませんが日常的にメールリストを通して情報交換をしています。保育園情報や子供の病気情報からご近所の美味しいお店情報や家族でのお遊び情報など話題は多様です。メールだけでは飽き足らず、たまに、オフィス近くで子供たちのいない優雅なランチをしながら情報交換したりもします。月に1回程度、メンバーの予定があう週末には、子供もパパもみんな一緒に遊んでいます。

また、デイジーチェーンでは、情報交換のひとつとして、身近な港区の子育て支援策について勉強したり、要望をだしたりするために、アドバイザーとして、子育て支援に熱心な阿部浩子区議に参加いただいています。23区内でも子育て支援を区政目標に掲げている港区ですが、もっと私たちの立場に立った子育て支援を求めていきたいと思っています。デイジーチェーンは、ワーキングペアレンツが中心のグループですが、明治学院大学社会学部附属研究所の協力を得ながら、港区や近辺の様々な子育てグループとの交流も行っています。子育ては、パパママだけでなく地域の中でいろんな人たちとともに、楽しみながらできるようなサポートを行っています。

■主な活動場所

- 豊岡福祉会館
- 個人宅(三田・高輪・白金近辺)

■主な活動日/活動頻度

- 月1回(土曜か日曜) 13:00~17:00  
(\*変更することもあります。)
- 月に1,2回ランチミーティング

■代表者

北川 あす香

■メンバー

15名

■連絡先(連絡方法)

・参加希望や質問などは、ぜひメールしてください。(snowy0622@ybb.ne.jp) 折り返し、ML等のご案内をさせていただきます。

■参加してほしい！(プログラム/講座のお知らせ、ボランティア募集)

最近、ワーキングマザー向けの情報はネットでもたくさんあります。でも、ワーキングマザーたちは？ 今後は、仕事もちろん大切だけど、もっともっと子供と、家族と関わりあいながら楽しんで生きたいと思っているパパたちの交流もしています。ぜひ家族みんなで参加してください。

■ひとこと

ワーキングペアレンツの皆さん、これからワーキングペアレンツになりたい、と考えている皆さんはもちろん、もっと子供のいる生活を楽しみたい、もう少し家族に優しい社会になって欲しいと思っているパパママ。会社や、地域社会との関係から新しい家族のあり方を考えたいと思っている皆さん、ぜひ参加してください。



# THE DAISY CHAIN (デイジーチェーン) 活動風景

The Local Support Group for Working Parents & Kids



グループ名

ラ・ラ・ラ  
La,La,La,

- **グループ紹介**

港区民生涯学習課の家庭教育学級で子育て講座を企画する。区民企画スタッフとして集まった仲間が、区民企画スタッフを卒業した後自分達で気になること興味あることがたくさんあって、それならサークルを作ろうと自主的に集まったサークルです。

- **活動紹介**

'05年1月に「港区社会教育関係団体」に登録。8月に社会福祉協議会子育てサロンとして登録。港区主催の食育のメンバーとして活動。港区の食育を通じて交流。夏・冬休みには親子クッキング、田んぼ畑、遠足、農業体験などさまざまな活動を行っています。

- **活動日・稼働場所**

毎週木曜日 10:00～14:00くらい  
月に一回は料理講座などを行っています。

- **代表者**

宇山 真紀子

- **連絡先**

[lalala-blooms@googlegroups.com](mailto:lalala-blooms@googlegroups.com)

- **ボランティア募集**

子供と一緒に遊んでいただける方募集しています。  
交通費＋当日作ったお料理、お菓子等差し上げます。

- **会場のみなさんへ**

他のサークルの方とコラボレーション企画が出来たらいいと思っています。





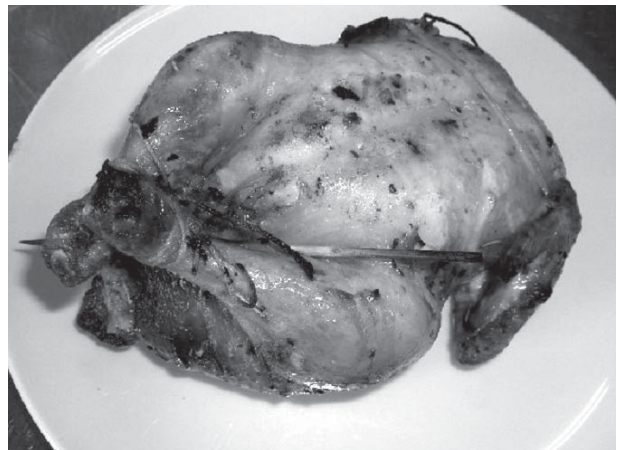
★親子クッキングで生地から作ったパン

★八ヶ岳中央農業実践大学校主催の農業体験に参加



★親子クッキングでクリスマスケーキ作り

★親子クッキングで作ったローストチキン



# 青山ライオンキッズクラブ

## ごあんない

はじめまして。青山ライオンキッズクラブへようこそ♪

わたしたちは子どもの成長をみんなで見守りながら、親子共に成長していきたい。

また読み聞かせを通じて、お母さん方との交流をふかめていきたいな・・・との思いが集まり、平成14年4月に結成しました。

現役ママたちの手作りサークルです。

わたしたちと一緒にたのしい子育ての思い出を作っていきますか？

これからもどうぞよろしくお願いします(\*^\_^\*)

**活動日：毎月月末 金曜日 11:00から12:00**

**場 所：青山児童館1F** (外へお出かけすることもあります♪)

**活動内容：読み聞かせ、工作、ゲームなど**

**ライオンキッズ通信の発行**

**対 象：0歳から未就園児**

※ 毎月の開催日等は、メールにてお知らせしています。またブログの中でも紹介しています。  
青山児童館内にお知らせをおいてあります。

※ 当サークルは港区社会福祉協議会 子育てサロンに登録されています。

貴会の助成金により運営していますので、会費等はありません。

手作りの子育てサークルです。みなさんのご意見、ご要望をお待ちしています

→→→企画・準備を手伝ってくださる方も大募集中です。

いっしょに楽しい“企画会議”に参加しませんか？

ブログ公開中

書き込みしてくださいね♪

[http://blog.goo.ne.jp/lion\\_n](http://blog.goo.ne.jp/lion_n)

<お問い合わせ>

港区社会福祉協議会子育てサロン登録団体

青山ライオンキッズクラブ

E-mail:lion\_n@mail.goo.ne.jp

携帯: 090-2339-4510

ブログ: [http://blog.goo.ne.jp/lion\\_n/](http://blog.goo.ne.jp/lion_n/)



# ライオンキッズクラブ

2006

## 活動紹介

2 月

読み聞かせ

親子でおひなさまをつくろう

3 月

入園おめでとう会

スクラップブック

4 月

読み聞かせ

おでかけかたつむり

6 月

読み聞かせ

どうぶつクイズ

1 月

子育てセミナー&ミニコンサート

“子供の豊かな感性が見えますか?”

角田 富美子(区立幼稚園園長等歴任  
上級教育カウンセラー)

白石 圭美(東京芸術大音楽部声楽科卒  
ソプラノ歌手・1男の母)

青木 広武(大阪音楽大学卒  
ジャズピアニスト)



7 月

新聞玉入れ

親子でボールはこび競争

5 月

ライオンキッズ祭り

<縁日>

ヨーヨーつり・まとあて・

リサイクルコーナーなど

MIO☆さんによるミニLIVE

MIO(SONYニュージックよりアルバム、

シングル多数リリース・1男の母)

8 月

みんなでおでかけ

東京都児童館<渋谷>

9 月

☆リッツパーティー☆

幼稚園選びの情報交換会♪

首肩マッサージコーナー

読み聞かせ・紙コップおぼけ(工作)

12 月

♪クリスマスパーティー♪

英語で読み聞かせ

クリスマスリース作り

なりきりサンタPHOTO

<サンタに変身>

ママ☆マッサージ

10 月

ハッピー・ハロウィン

読み聞かせ・ママ☆マッサージ

かぼちゃとおぼけのオーナメント作り

11 月

絵かきうた

読み聞かせ

ママ☆マッサージ

# めいがくキッズ&ママ・パパ応援隊

## ☆応援隊とは？

♪学年学科を越えた大の子ども好きが集まりました！学生らしい若さを発揮しながら企画のサポートをしてきました！

## ☆私たちこんな活動しました

- ♪ママ・パパたちが企画会議中キッズたちと遊ぶ・見守る
- ♪ママ・パパたちのための活動スキルアップ講座へのサポート・参加
- ♪「応援隊木持ちオブジェ」の作成（会場に展示）



## ☆活動の時期

- ♪第一期→2月初旬から3月下旬の反省会まで
- ♪第二期→10月末から3月の反省会まで

## ☆活動場所

社会学部附属研究所 プレイルーム

## ☆応援隊メンバー（五十音順）

- ♪浅野航   ♪柏木千里   ♪川田佳永   ♪河合美典   ♪白鳥絵梨奈
- ♪辻村剛   ♪中根磨美   ♪二又川潤一   ♪三原路子   ♪矢澤彩美

## ☆前期から活動してこんなことを感じました

- ♪元気で活動的なお母さんが多いなあっと関心しきりで自分も見習おうと思った
- ♪子育てする人に冷たい日本—どんな時も人を思いやる気持ちを忘れちゃいけないな
- ♪子ども関係に興味があり、このような場で自分の意見が言えたり、他の学生ボランティアの意見を聞いてまた自分で考える、ということができ自分のためになり、楽しかった
- ♪この企画のような「共有しよう」「つながろう」という運動はとても意義深い
- ♪核家族化が進み、地域とのつながりが希薄になっている今日、子育てをしているお母さん方の多くは、たくさんの悩みを抱えているということがわかった
- ♪誰もが子ども好きで子育て、教育、地域に興味を持つべきだと思う
- ♪子育て、地域、家庭に興味を持つもっと多くの人を引きずり出して、情報を共有する必要がある
- ♪子どものお世話は本当に楽しくて彼らから溢れる笑顔とエネルギーを分けてもらった
- ♪お母さんが Happy な社会は子どもたちやお父さん、大学生にとっても快適な社会！



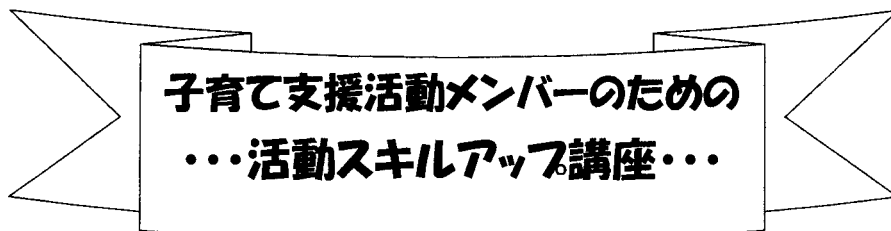


# 子育て支援活動メンバーのための活動スキルアップ講座

## 全4回講座の内容

### チラシ内容

・・・子育て支援活動メンバーのための活動スキルアップ講座・・・



子育てサロン・子育てサークル・読み聞かせ・親子劇場そのほか、「子育てをささえる地域創り」に一役も二役も買っている皆さんのための講座です。

日頃の活動のステップアップのために、いっしょに学びませんか？

#### ●講座の内容●

| テーマと内容   | 講師  | 日時                       |
|--|---|--------------------------|
| 第1回「ITをつかって活動をPRしよう」<br>多くの人にお金をかけずに、瞬時に活動を知らせる手段として、IT活用に関するノウハウを学びます。    | 川森 茂樹・山田 祐介<br>(N T T データ技術開発本部<br>システム科学研究所) | 10月20日(金)<br>10:30~13:00 |
| 第2回「参加者集めのためのチラシづくり」<br>必要な人にちゃんと情報を届けたい～チラシやポスターによる、参加者集め呼びかけのノウハウを学びます。  | 吉田 理映子<br>(市民活動情報センターハンズオン!埼玉)                | 11月24日(金)<br>10:30~12:30 |
| 第3回「活動紹介のためのプレゼンスキル」<br>地域の方に活動を知ってもらうには人前で活動紹介することも!簡単なプレゼンテーションスキルを学びます。 | 青木 将幸<br>(青木将幸ファシリテーター事務所)                    | 12月 1日(金)<br>10:30~12:30 |
| 第4回「報告書のまとめ方」<br>活動したらまとめておく...これが意外と大変。でも活動実績をまとめて見せることは、地域創りに役立ちます。      | 後藤 麻理子<br>(日本ボランティアコーディネーター協会)                | 2月23日(金)<br>10:30~12:30  |

対象：子育て当事者によるグループや子育て支援活動のグループで活動している人

定員：15名（先着順、各回のみ参加についてはご相談ください）締切：10月19日

保育サービス：申込時に、必ず申し出てください。（先着順、定員5名）

会場：明治学院大学社会学部付属研究所（最寄駅：白金高輪・白金台・高輪台）

本講座は、みなとキッズサポートセンター（港区子ども家庭支援センター）が、1月開催予定の「地域こぞって子育て懇談会」企画と連動しています。参加者のグループは、「地域こぞって子育て懇談会」で活動紹介するチャンスがあります。（懇談会を開催する当該エリアのグループが優先となります）詳細はお問い合わせください。

◆申込先：明治学院大学社会学部付属研究所 TEL03-5421-5204・5205 FAX03-5421-5205

（港区白金台1-2-37）

Eメール issw@soc.meijigakuin.ac.jp

●主催：港区立子ども家庭支援センター・明治学院大学社会学部付属研究所●

・・・2006年度 港区子ども家庭支援センター・明治学院大学社会学部付属研究所・・・

## 第1回活動スキルアップ講座「ITをつかって活動をPRしよう ～ブログをつくろう～」

2006年10月20日（金）10:30～13:00

講師：川森茂樹氏，山田祐介氏（株式会社NTTデータ システム科学研究所）

### ◆ 川森茂樹氏プロフィール：

1969年、三重県四日市市生まれ。

三重大学工学部卒業後、現、株式会社NTTデータに入社。福祉情報システムの企画・開発に携わる。以後、福祉情報化に関心を持ち、仕事を続けながら、立教大学大学院コミュニティ福祉学研究科に進む(社会福祉学修士)。現在、技術開発本部・システム科学研究所にて、高齢者医療法の施行に向けて研究中…。

### ◆ 山田祐介氏プロフィール：

2003年、NTTデータに入社。

3年間、ITを活用した市民参加の研究を行い、行政やNPO等、地域で活動している方たちと触れ合う機会があり、地域社会に関心を持つようになった。

現在は働く場所や働き方に関する研究を行っている。また、私生活でも、結婚し、地域活動や街づくりには現在も興味がある。

## ITを使って活動をPR

### ・ インターネットを使うと…

- － 簡単に情報が得られる
  - ・ 検索サイト(Google, Yahoo!)でキーワード検索、「東京都 港区 子育て」で検索すると、なんと33万件
- － 簡単に情報が発信できる
  - ・ ホームページを簡単に作ることができる(かつ、無料で)

### ・ ホームページを使って活動をPR

- － ホームページを作ったのだから、見てもらいたい …検索エンジン(Google等)
  - ・ 検索サイトが、インターネットにあるホームページを集めて検索の対象としている
  - ・ ホームページを作ったとしても、検索サイトから見つけてもらえないと、検索の対象にならない
  - ・ 検索キーワードをいくら入れても出てこない…「孤島」になってしまう
- ⇒ 検索対象となっているホームページからリンクを張ってもらう

### ・ 活動をPRする基本

- － 伝えたいこと、伝えたい相手をはっきりさせる（まずは、わかりやすいタイトルから）
- － たとえば「仲間になりたいな」と思ってもらうためには、どのように発信すればよいか

# ホームページを作ろう

## 【ホームページの作り方】

### ① デザイナー・技術者に依頼する

- ・ ホームページを作るには、「〇〇.HTML」といったファイルを用意する必要がある
- ・ きれいなホームページにするためには、プロのデザイナーに頼むことが必要
- ・ インターネットに作ったファイル(HTML等)を置く必要がある
- ・ 技術用語が多くでてきて、わからなくなってしまう。技術者(詳しい人)に頼むことが必要

### ② 自分たちで勉強する

- ・ ファイルを自分たちで用意する。最近のワープロなら、保存すればHTMLになる
- ・ きれいなホームページにするために、みんなで協力する  
たとえば、コンピュータで絵を描く担当、文章を書く担当、コンピュータに詳しくなる担当...
- ・ インターネットに作ったファイルを置く方法を勉強する、試しにやってみる

### ③ ブログ(Blog)を使う

- ・ 無料、かつ、いろいろ勉強しなくても何とかなる
- ・ ホームページのデザインは、テンプレート(デザイン)から選べばよい
- ・ 今日からでもできる ⇒ やってみよう

## 【整理】ホームページの作り方の違い

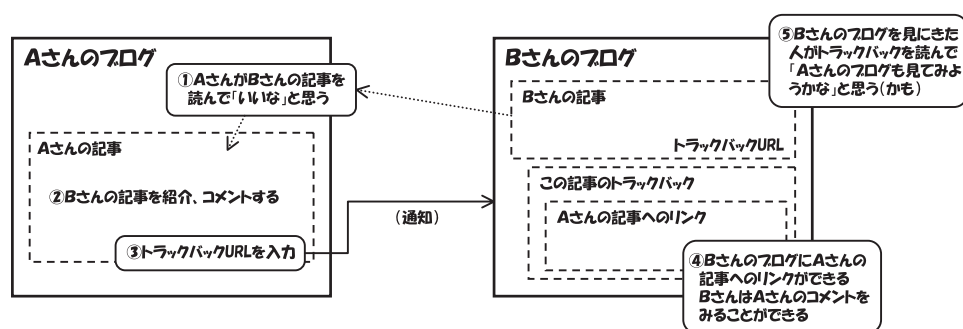
| 作り方                              | メリット  | デメリット  |
|----------------------------------|---|--|
| ① デザイナー・技術者に依頼する                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ きれいなホームページができる</li> <li>・ わからないところは任せられる</li> <li>・ 「ちゃんとしたホームページ感」がある</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ お金がかかる</li> <li>・ 更新したくても自分たちではできない(かもしれない)</li> </ul>  |
| <b>きれいにできる。けれど、お金がかかる</b>        |   |  |
| ② 自分たちで勉強する                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 思ったとおりのものを作れる</li> <li>・ 工夫して作り上げていくことができる</li> <li>・ 「手作り感」がある</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勉強するだけで大変<br/>活動のPRどころじゃない(本末転倒)</li> <li>・ 勉強したメンバーがいなくなると、どうしようにもなくなる</li> <li>・ お金がかかる、時間がかかる、手間がかかる</li> <li>・ 更新が面倒になりがち</li> <li>・ なんとなく「素人」っぽい(事実だけれど...)</li> </ul> |
| <b>思ったとおりのものができる。けれど、大変</b>      |   |  |
| ③ ブログ(Blog)を使う                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ブラウザや携帯電話さえあれば、簡単に更新できる</li> <li>・ 更新すれば、ブログのポータルサイト(玄関)に載る(宣伝になる)</li> <li>・ 「気軽に発信、見てもらえる感」がある</li> <li>・ 無料(有料サービスもある)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービスとして用意されていることしかできない(無料版)<br/>→たとえば、写真は掲載できるけれども、ワードの文書ファイルは掲載できない<br/>→テンプレートにないデザインにしたいくても、簡単にはできない</li> </ul>  |
| <b>簡単、早い、きれい。けれど、できることに限りがある</b> |   |  |



## 見てもらえるブログにする

### 【ブログを使って活動をPR】

- ブログは、検索エンジンが見つけてくれる、「孤島」にはならない
  - ブログによっては、検索機能が充実。ブログのポータルサイト(玄関)から見つけてもらえる
- 更新すると、ブログのポータルサイト(玄関)に載る
  - とにかく更新する ⇒ 「ブログ新着記事一覧」に載る ⇒ 見に来てくれる人が増える ⇒ 人気サイト！
  - 更新をやめないこと
- コメントする、トラックバックする
  - こちらからもコメントをつけに行く、トラックバックする ⇒ ブログをPRすることになる



## ワーク「ブログを作ろう」

### • ブログの作り方

- まずは、ブログのサービスを提供しているところを選ぶ
  - goo(NTTレゾナント)、livedoor(ライブドア)等
  - 少し怪しげなところもあるので注意(新着記事をいくつかみて確かめる)
- 「ブログの始め方」のページをよく読む
  - gooの「ブログとは」が親切

### • ワーク「ブログを作ろう」の進め方

- ① ブログの始め方を読む(goo)
- ② ブログに掲載することを書き出す ⇒ 次のページ
  - ブログのタイトル、概要等
  - カテゴリー
  - 最初に掲載する記事
- ③ ユーザID(gooID)を取得する
- ④ ブログを開設する
  - テンプレート(デザイン)を選択する
  - ブログのタイトル等を入力する
- ⑤ 最初の記事を入力、掲載する

## ワークシート

|          |          |
|----------|----------|
| (タイトル)   | ユーザーID   |
| (概要)     | パスワード    |
| (初めての投稿) | カレンダー    |
| (タイトル)   | カテゴリ     |
| (本文)     | プロフィール   |
| (カテゴリ)   | (グループ紹介) |

## 注意事項

活動をPRするにあたって...

... インターネットで活動をPRすると、思わぬトラブルに巻き込まれることがあります

### 注意1 個人情報を掲載しない

- 子どもの写真や名前を載せると、親しみがわく、行ってみようかなと思ってもらえるかも
- いつも行っている場所を載せると、声をかけてみようかなと思ってもらえるかも
- けれども、誰がみているかわからない...

－ 解決策: はっきりとは書かない

### 注意2 悪意あるコメントがついてしまう危険がある

- 悪意あるコメントやトラックバックが...
- よくわからない英語のコメントが... 「nice site」と書いてあるけれど...

－ 解決策: 相手にしない(放置)、削除してしまう ⇒ 何かあればご連絡を

### 注意3 グループの活動のPRか、メンバー個人の子育て日記か、わからなくなってしまう

－ 解決策: 掲載することを決める、メンバーそれぞれがブログを立ち上げる

## 今後の進め方(1)

---

### 1. グループで話し合う

- ユーザID、パスワードを共有する
- 掲載するものを決める、掲載のルールを決める  
たとえば、「お店に行く → 記事を書く → 確認してブログに載せる → 話し合い、修正」
- メンバーそれぞれが、得意なことを活かしてブログを盛り上げていく

### 2. ブログの仲間を増やす

- 港区のブログ仲間を増やす
- できるだけ相互にコメントする、トラックバックを送る  
「見えますよ」が続ける元気の素になる

### 3. ブログを使って他のグループの活動も紹介

- メールや紙で他のグループから記事(イベント情報等)を受け取る
- ちょっとしたコメントをつけて掲載する、他のグループに掲載したことをお知らせする  
たとえば、「イベントに参加してみる → 写真つきで記事を書く → ...」

### ! 無料のブログに飽き足らなくなってきたら ...たとえば、「ワードで作ったチラシを掲載したい」

- 有料サービスを使う
- ブログを「引越」する(別の会社ならできるかも) など

## 今後の進め方(2)

---

### 【ワードで作ったチラシを掲載したいなら...】

#### ー チラシの一部を切り出して投稿し、データベース化

- そのまま掲載するのは無理そう
- 検索の対象になるためには、文字データ(記事)のほうがよい  
たとえば、お店訪問情報、イベント情報といったカテゴリをつくり、コピー＆ペーストで投稿！  
カテゴリを地区に分けるのもいいかも...

#### ー チラシを作るために日々投稿

- お店に訪問したら、日々、投稿する
- あとで記事をまとめてチラシにする(もちろん、チラシにてブログを紹介！)
- チラシにはできないことをブログでする  
たとえば、写真付きで紹介する、コメントをつける、他のブログの記事を探してトラックバックする



第2回活動スキルアップ講座「参加者集めのためのチラシづくり」

2006年11月24日（金）10:30～12:30

講師：吉田理映子氏（市民活動情報センターハンズオン！埼玉 副理事長）

～伝えることのできる人は幸せだと思ってほしい～

チラシいいのができない～と落ち込むが、そうではなく、伝えたくても伝えられない人がいる、その人たちに届けることができる幸せを思ってほしい。

○吉田さんが伝えようと思ったこと・・・

1999年9月30日東海村の臨界事故があった日。私は「ここ埼玉は大丈夫かも・・・」と思ってしまった。しかしそれから一ヶ月後、「原発は安全」と伝える広告代理店の仕事に携わっていた側としてこの事実をしっかりと見なくてはいけないと言われ おそろおそろ出かけた。

テレビには映っていなかったが、近隣には小学校と幼稚園があった。子どもたちを通わせていたお母さんから、いっしょに「いのち」のこと知ろうよといわれた。私も子どもを育てているので、知るところを始めようと思った。いろいろなことを教えてもらった。それを伝えようと思った。

○「あー来てよかった」と思ってくれるかなーを考える

子育てサロンをする時にも、ここから広報が始まっている。

どんな壁だったら人はほっとするだろうか。どんなにおいだったら、入ってきたお母様たちがほっとするだろうかと考える。広報、チラシづくりと同じである。入った瞬間、「あー来てよかった」と思ってくれるかなーを考える。それがすべてのコミュニケーションである。

タイトルは「あの日東海村で子どもたちは」として、幼稚園でぬいぐるみのあるお部屋で、体験したお母さんが語った。チラシに原発や臨界事故とは入れなかったが、あの日どんなにこわかったかを語り始めたら、心と心がつながっていった。お母さん同士のつながりができ、そのあと、伝えたいと思う人が増えた。伝えましょうとも、つながりましょうともいっていない。「つながりたい」と思う仕掛けを作ることなのだ。

○広告というラブレターはその人の暮らしに入るもの

わざわざ本屋の原発コーナーへは行かない人に原発のことを伝えるには？とお母さんたちと考えた。

ラブレターはその人の暮らしに入るものだから、唐突にきても開けないが、回覧板なら見ると。「私からあなたへ～」がわかるから読もうと思う。「あなたの大事な人がいたら、こ

れをまわして、ご自分でコピーして次の方に回してください。」と書き渡した。手渡しされた手記からどんどん伝わった。「うわーこんなことがあったの?!」と心に届くと、その人は何かしたいと思わずにはいられない。その人から湧き出る自主的な行動は行政でも企業でもない。人なのだと知った。伝わる数は少ないかもしれないが、深いとわかった。私も子育ては、たいへんだった。しかしいっしょに話しましょうということを丁寧に考え関わっていくことで、今起きているいじめの問題なども少しずつかわるのではないかと思う。

### ○ラブレターを待っている人がいる

「市民」という立場の皆さんたちが、社会を変えることができるのだと思う。皆さんからのラブレターを待っている人がいることを、まず思ってもらいたい。だから、チラシは命がけに創るものではないか。以前 倉本聰先生からいわれたのは、「一滴の涙にかけなさい」ということだった。一滴人を動かすまでは大変だが一滴の涙で人は元気になることがある。一度、人が心を揺るがされると、あとはその人が動いていく。その人が行きたいと思ってくれる。さがしてくれる。そこまで、きゅっと変えるまでが、チラシの役割である。だからテクニックではない。

本当に伝えたいと思ったら、街を歩けばよい。なんでここでキモチが立ち止まったのかなと、気になったチラシを手にとると、ポスターをよく見ると自分のテクニックの集積ができる。

### ○ラブレターを届ける相手へキモチの言葉を

例えばきょうの参加者の自己紹介、実はヒアリング、マーケティングである。各人の自己紹介で印象に残ったこと、これらは広告的要素である。好きなこと、大事に思っていることなどどんな人柄かがわかると相手を受け入れやすくなる。どんな団体かがわかると、人はその団体に興味をもつといっしょである。仲間のこの点がきっかけでひかれたわ、、という経験がチラシに生きる。人の話を聞くのは大切。誰かが言ったそのままの言葉をチラシに入れるのが早い。話された言葉、リアルな言葉をできるだけストックしていく。加工しない、ナマのキモチの言葉をのせるだけでも響いていく。ウソがない。市民はその言葉をリアルに聞ける。こうした言葉を、手渡しでもらえるところにいるのは、チラシをつくる上での強みである。



## 伝わる原理「広告」と「広報」二位一体のルール

人が伝えようとするとき、広告要素と広報的要素があれば伝わる。

さらに、伝わるだけでなく、伝わってしまうこともある。

**広告の役割**：買ってね、参加してね、と、行動を移してもらうこと。一方通行。

例) チラシ、看板、CM。

**広報の役割**：好きになってね、と伝えること。双方向。感想・意見が戻ってくるのが広報である。空気を伝えている。

例) 新聞記事、イベント、広報誌。

## たったひとりのために・・・「伝える」幻想と真相・・・

社会は万能ではないので、つながれる人は狭まっている。

### ・ ビリヤード大作戦

たったひとりのために「あの人」に届ける。あの人に届けたその人から、あの人へ。次のその人からあの人へ、その次のその人からあの人へ。ビリヤードの玉のごとくである。

### ・ 助けてコミュニケーション

どうしたら来てくれるか、来てくれた人がどうだったかーをきく。いろいろな人にきくことは、「助けて」ということ。きかれた相手には、広告になる。どういうサイズがいい? など小さなことなども聞く。きかれた相手が1～2年たってこのテーマを思い出すかもしれない。市民だからきいていける「助けてコミュニケーション」である。

### ・ 立ち会い出産広報

簡単なことでも助けてということは広報には大切なこと。「チラシ配って」といってもやってくれないが、「配りたい」と思えばやる。どこかで1回でも関わると、「私のチラシ」になる。これが立ち会い出産広報。途中でどんどん伝えていく、きいていく、立ち会い出産していく。広報をつくる途中が大事である。





## 5つのDon!

### **1 Don! : どんなんから?**

トーン（感じ）& マナー（様式）を決める。

どんな感じの団体からなのか。

形態（例 ベビーカーにすっと入るチラシにしよう、、、冷蔵庫にはってもかっこよいもの）色（最低限イメージカラーを決める、、、）90パーセント以上は、頭ではなく感じや雰囲気理解する。私たちの団体だから、つくれるチラシは何か？決めないと困ったことも起きることもある。

### **2 Don! : どんなんへ?**

どこに住んでいて、どんな思いの、どんなことを気になったりして暮らしている人かなど、伝えたい相手のことを団体でひとり決める。まず最初に伝えたい人はだれか、心でターゲットを分析するとわかる。肉声をたよりにしていく。「〜〜〜と思っているお母さん」「いじめが気になっている近所のおじさん」こういう言葉を探す。

### **3 Don! : どんなん点を最初にいったらよいのか? (訴求ポイント)**

何を言ったらまず振り向いてくれかな〜を探す。チラシはただなので見ようと思って見るのではない。ふり向いてもらうことが命。

文字要素を淡々と整理する。これらをどうデザインするか。何をはじめにいったらよい

### **4 Don! : どんなんときに?**

いつ言うのか。

### **5 Don! : どんなん手段で?**

手段はチラシに限らない。説明する時に使えるチラシ。おいてあったらあけてほしいチラシ。えっ!と思うまでがチラシ。あけると答えが書いてある。

#### ◆ 吉田理映子氏プロフィール :

大学卒業後、広告代理店に勤務。企業の広告戦略の企画立案、制作実施を担当。倉本聰氏（「北の国から」の脚本家）の「広告制作参加型プロジェクト」などに携わる

1999年東海村臨界事故をきっかけに、さいたまNPOセンター広報専門スタッフとなる。同センターでの主な仕事としては、埼玉県介護保険サポーズクラブの1000人募集広報、「埼玉つながりリスト」の編集などを手がけた。現在ハンズオン！埼玉副代表理事をはじめ様々なNPOの広告広報活動及び企業の社会貢献活動の企画に取り組んでいる。子ども、介護、虐待、環境・・・などなどの分野で、ひとりの困ったをみんなの困ったにするためのコミュニケーションを企画、制作、失敗、再生・・・を繰り返している。

第3回活動スキルアップ講座「活動紹介のためのプレゼンスキル」

2006年12月1日（金）10:30～12:30

講師：青木将幸氏（青木将幸ファシリテーター事務所 代表）

## 今すぐ使える「7つのコツ」

### 1. 目的の明確化

伝えたいことは何か。伝えたいことを一文で表すようにする。

### 2. 言いたいことをリストアップ

伝えたいことをリスト化する。リストの中から取捨選択をする。

### 3. 言う順番を決める

思いついた順で話すと、聞いている人は混乱する。伝わりやすい順番を考える。

### 4. 一文一文を、短く切る

短い言葉で言い切るようにすると、聞き手は理解しやすい。

### 5. アイコンタクトを入れる

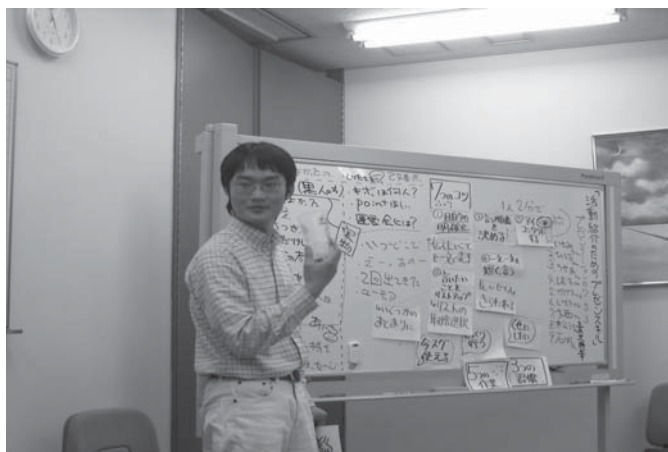
会場の参加者に向けて話す。時計を気にしたりしない。物を紹介するときは、物を見せる。

### 6. ジェスチャーを入れる

手元で示したり、少し手を動かすだけでもよい。大事な話の時に、一步前へ出るだけでもよい。

### 7. ゆっくり、はっきり、しゃべる

早口になる人もいるので、気をつける。



プレゼンスキルの7・5・3をふだんの活動に取り入れてみてほしいです。プレゼンはやりながら上達するもの！チャレンジしてほしいです。

## じっくりやりたいときのための「5つの作業」

### 1. 対象分析

どんな人に伝えるのか？→年齢・性別（基本情報）、会場にいる人数、地域分布、分野の経験とか詳しさ（使う言葉を選ぶ必要があるから）

### 2. 肉づけ

話の肉づけでプレゼンが豊かに。笑いを得られる話、例えば、、、という話。始め方と終わり方も大事。目的につながる終わりの言葉を用意しておく。自分の経験を話すと説得力が増すことも。データを示すやり方もある。

### 3. 場づくり

お茶やお菓子も場づくりのひとつ。ぬいぐるみを置く、音楽をかける、、、など雰囲気づくりをする。温かいかんじが伝わったり、グループらしさが伝わる。

### 4. 道具づくり

例えば、自分の団体の広報誌を見せる。難しいことば、言いたいキーワードを書いて示す。服装も小道具。

### 5. リハーサル

## 「3つの習慣」

### 1. 上手な人から学ぶ

「落ち着いているなあ」「アイコンタクトがいい」「ジャスチャーをうまく入れているな」周りに上手な人がいない場合は、テレビからテクニックを学ぼう。

### 2. 自分でチャンスをつくる

人にふってしまると、うまくなるチャンスをなくす。つくったチャンスの数だけ上達する。

### 3. 他者から評価を受ける

人がどう感じたかを率直に言ってもらおう。仲間に聞く。会場の人に聞いてもよい。言いにくいかもしれないけど、私の上達のためだから教えてね、、、とお願いする。やりながら上達するものだ。

#### ◆ 青木将幸氏プロフィール：

1976年生まれ。94年より、学生環境サークル、エコ・リーグ、A SEED JAPANなどで、オゾン層、森林、地球温暖化、若手リーダーの育成などをテーマに活動を開始。市民活動の人材育成を専門に行う市民団体「POWER-市民の力-」のトレーナー、企画会社ワークショップ・ミューのプランナーを経て、2003年に独立し、青木将幸ファシリテーター事務所を設立。会議や研修の場面におけるファシリテーター（進行役・促進役）の育成と実践を行っている。

第4回活動スキルアップ講座「報告書のまとめ方」

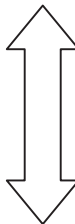
2007年2月23日（金）10:30～12:30

講師：後藤麻理子氏（日本ボランティアコーディネーター協会 事務局長）

**港区地域こぞって子育て懇談会の報告書をつくろう！**

- さて、「報告書」を何のために作りますか？ …… 目的  
誰に向けて作りますか？ …… ターゲット

よく知っている



- 企画から参加していた人
- 当日だけ参加した人
- 関心はあるが参加できなかった人
- 少し関心のある人
- 関心がない人

まったく知らない人



■ どんな報告書なら読んでみようと思いますか？

- 表紙 伝えたい ←————→ 知りたい
- 目次
- はじめに、あいさつ、まえがき
- 最初の5ページ
- 企画、運営のプロセス
- 内容（話されたこと、出された意見・質問、明らかになったこと）

■ どんなスタイルが伝わりやすいか

- 読ませ方、見せ方、魅せ方
- ストーリーがある 起承転結
- 時間軸（ドキュメンタリー）
- 結論・経過・感想
- 親しみやすさ 絵本 雑誌
- カタログ センスのいい本 身近な話題
- 便利さ、活用度 欲しい情報 知りたい知識 課題の共有

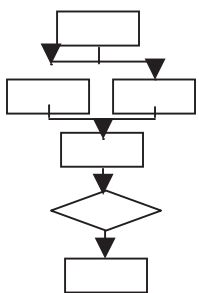
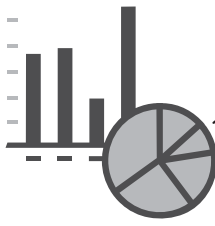

◆ 後藤麻理子氏プロフィール：

東京都社会福祉協議会に入職後、高齢者生活相談、ボランティアセンターにおける相談・情報活動・企業の社会貢献活動推進等、社会福祉ニーズに関する調査研究、広報、企画部門等の業務等を経て、2000年度より人材研修部門の統括主任。上記退職後2005年4月より現職（専任）となった。人と人、人と組織、組織と組織をつなぐコーディネーション機能の普及と地域福祉における行動する人材の育成に着目している。



**■せっかく作る報告書。伝えるための工夫をしよう！**

|          |         |          |
|----------|---------|----------|
| 読んでもらおう！ | 見てもらおう！ | 魅力的に飾ろう！ |
|----------|---------|----------|

|        |  |  |   |
|--------|--|--|---|
| 文字で表す  | 文章 短文 箇条書き                                   | キャッチコピー  |    |
|        | 表・マトリックス                                     | チャート   |   |
|        | 段落、タイトル、小見出し、囲み                              |  |   |
|        |  |  |   |
| 数で表す   | 数値 数表  | グラフ  |   |
|        |  |  |   |
| イメージ   | 記号   | アイコン   | 吹き出し  |
|        | イラスト 地図                                      | 写真   |  |
| その他の工夫 | レイアウト (余白、デザインの統一、活字の種類・大きさ)                 |  |   |
|        | あああああ あああああ あああああ あああああ<br>判型、大きさ、厚さ、素材、色・・・ |  |   |

地域でまるごと子育て

# 2006年度港区地域こぞって子育て懇談会開催時点の“目で見えるデータ”

図1：区内の18歳未満親族のいる一般世帯数

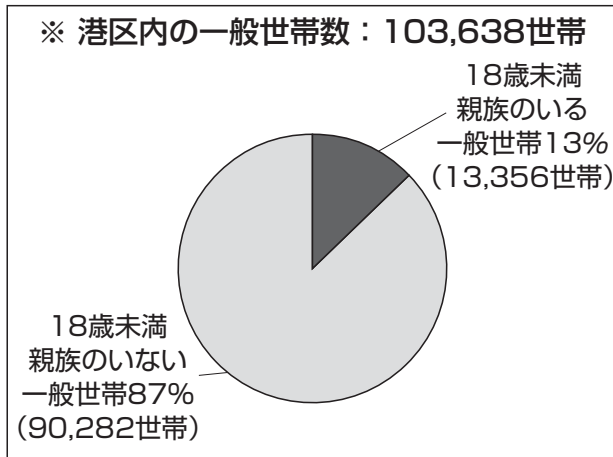


図2：区内の18歳未満親族のいる親族世帯の内訳

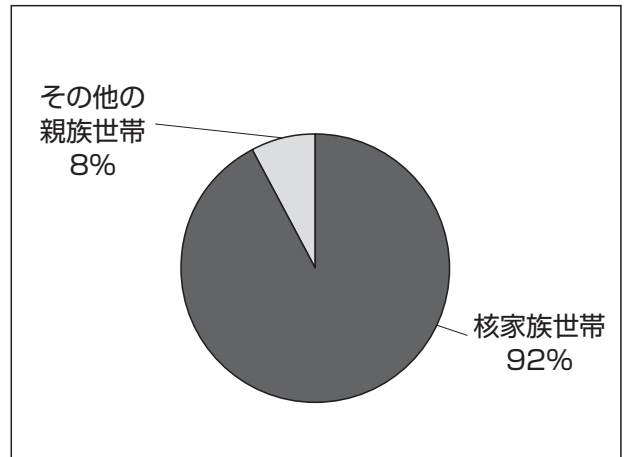


図3：区内の18歳未満親族のいる親族世帯中の核家族世帯の内訳

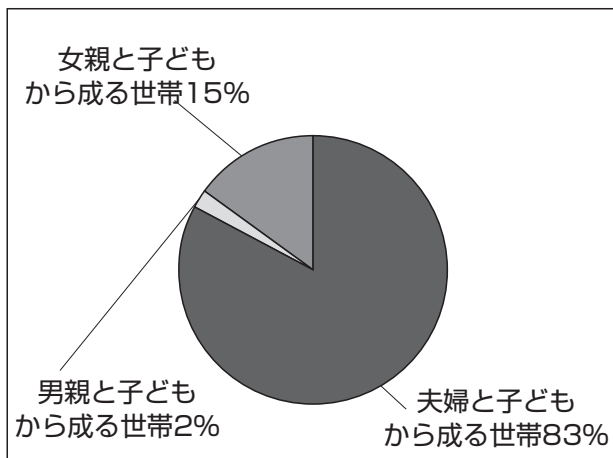


図4：港区の人口

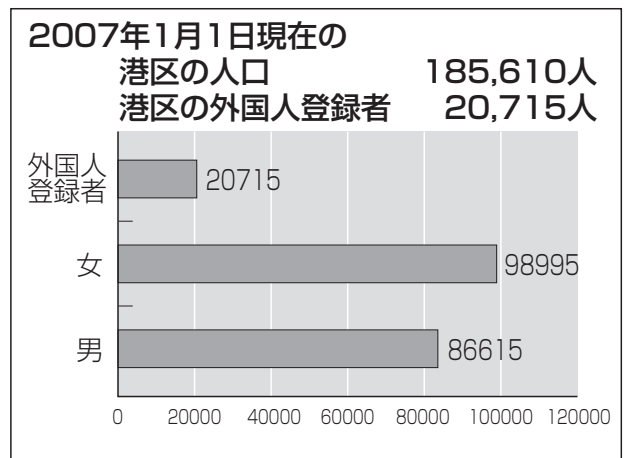
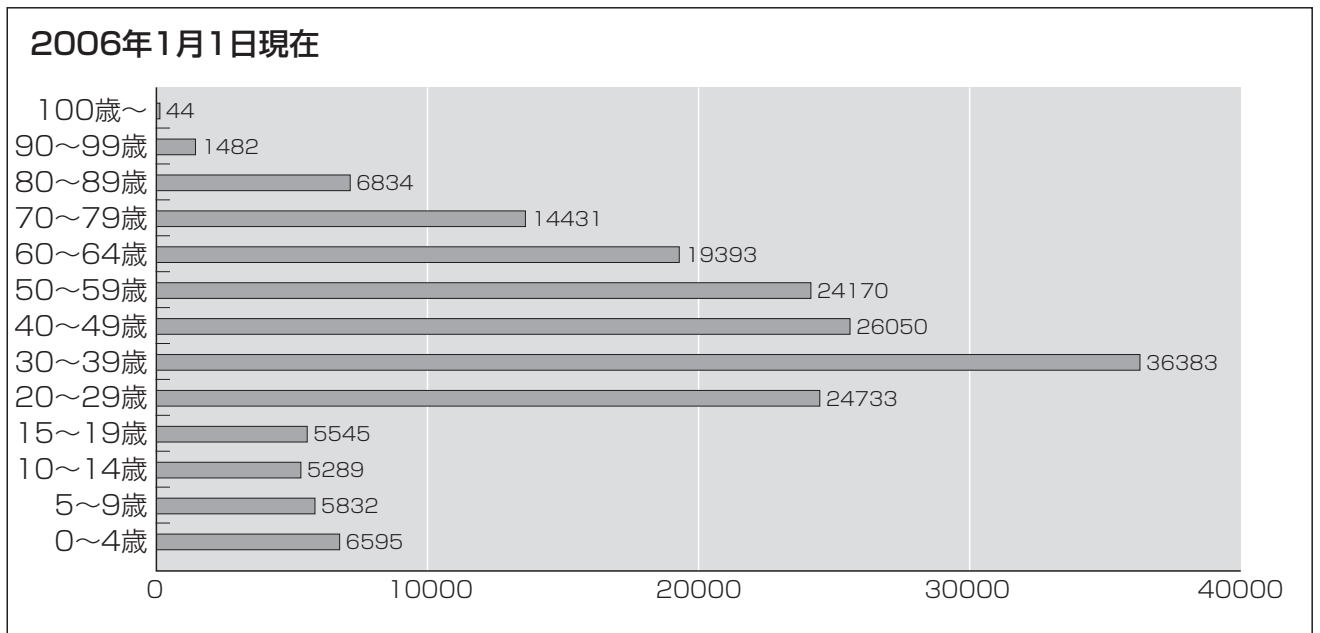


図5：港区の年齢別人口



\*注1：図1・図2・図3は、総務省統計局資料「平成17年国勢調査報告」を元に、図4・5は、「港区ポータルサイト」統計データを元に作成した。

\*注2：「親族世帯」とは、国勢調査上の一般世帯を、その世帯員の世帯主との続き柄により3区分した世帯区分のひとつで、「二人以上の世帯員から成る世帯のうち、世帯主と親族関係にある世帯員がいる世帯」である。他に「非親族世帯」「単独世帯」がある。図1の「18歳未満親族のいる一般世帯」は、大多数が「親族世帯」であるが、40世帯の「単独世帯」が含まれている。

「親族世帯」は、その親族の中で原則として最も若い世代の夫婦とその他の親族世帯員との関係によって、以下のように区分される。

I 核家族世帯（以下、4類型の世帯）1) 夫婦のみ・2) 夫婦と子ども・3) 男親と子ども・4) 女親と子どもから成る世帯

II その他の親族世帯（以下、10類型の世帯）5) 夫婦と両親・6) 夫婦とひとり親・7) 夫婦、子どもと両親・8) 夫婦、子どもとひとり親・9) 夫婦と他の親族（親、子どもを含まない。）・10) 夫婦、子どもと他の親族（親を含まない。）・11) 夫婦、親と他の親族（子どもを含まない。）・12) 夫婦、子ども、親と他の親族・13) 兄弟姉妹のみ・14) 他に分類されない親族世帯

尚、「18歳未満親族」とは、世帯主との続き柄において、「子ども」に限定されない18歳未満親族をさしている。

## 編集後記

2005年度の終わりの終わりの時期に（2006年3月）、当所主催の市民講座「都心で子育てまっ最中！ママ・パパからの発信～子育てをささえる地域創りとは～」を開催してから早1年。あれから1年たった今、港区立子ども家庭支援センター（以下、センター）と共催した「港区地域こぞって子育て懇談会報告書」を制作することになるとは、当時思いも寄らなかった。

私たちは、センターからの提案（企画をいっしょに行うこと）を受けるにあたり、迷わず考え願ったことはただふたつ。「港区内の子育て相互支援活動を担う子育てグループの方たちといっしょに関わりたい。」そして、いっしょに関わって徒労に終わるのではなく、関わりのプロセスを通じて、「ますますみんなの活動が元気になり、グループ同士のつながりも太くなってほしい」だった。

報告書をまとめ終わり、はじめに迷わず考え願ったことの内、ひとつめは実行委員会をつくって企画するやり方により達成できた。ふたつめもなんとか達成できただろうか。実行委員メンバーたちは、懇談会開催後、当然来年度もあるものとして、懇談会をどうしたいかについて語っていた。来年度への抱負である。それは、実行委員たちがこれからさらに盛り上げようとしている子育てグループ間のネットワーク「みなと子育てネットWa. Wa. Wa」が企画を担っていったらいいね～という抱負につながっている。今年度の懇談会企画プロセスが、グループ同士のつながりを太くすることに少し貢献したとあってよいだろうか。

懇談会の開催にあたっては、さまざまな皆さまに随所お世話になった。殊に当日のプログラム立案では、日本ファシリテーション協会の加留部氏に多大な協力をいただいた。芝地区での懇談会当日には、協会の会員の方々も参加してくださり、今後へ向けての新たなつながりもつくらせていただいた。

実行委員たちとの最後の学習会は、「報告書のまとめ方」についてであった。地味なテーマと思われたが、どんなにステキな活動をしてやりっ放しはダメ、実績や成果をまとめ、広く地域創りに役立てねばと選んだテーマだった。本報告書が、手にとって読みたくなるような報告書になったかどうか、あの日の学習成果が表れたかどうか、気になるところである。

この報告書は2006年度の懇談会のまとめである。だが、それだけでは終わらない。次年度に継承するための大切な軌跡と布石でもある。これからまたひとつ、はじまるストーリーへの証であり、メッセージでもある。

（明治学院大学社会学部付属研究所 平野）

## 2006年度港区地域こぞって子育て懇談会報告書

### みんなで聞こう・いっしょに話そう

～子育てをささえる地域創りのためのラウンド・ミーティング～

企 画 港区地域こぞって子育て懇談会実行委員会

編 集 明治学院大学社会学部付属研究所

発行日 2007年3月30日

発行者 港区立子ども家庭支援センター・明治学院大学社会学部付属研究所



港区は、みどりの保全とごみの減量に努めてます。  
この印刷物の本文は、古紙配合率100%白色度70%  
再生紙を使用しています。